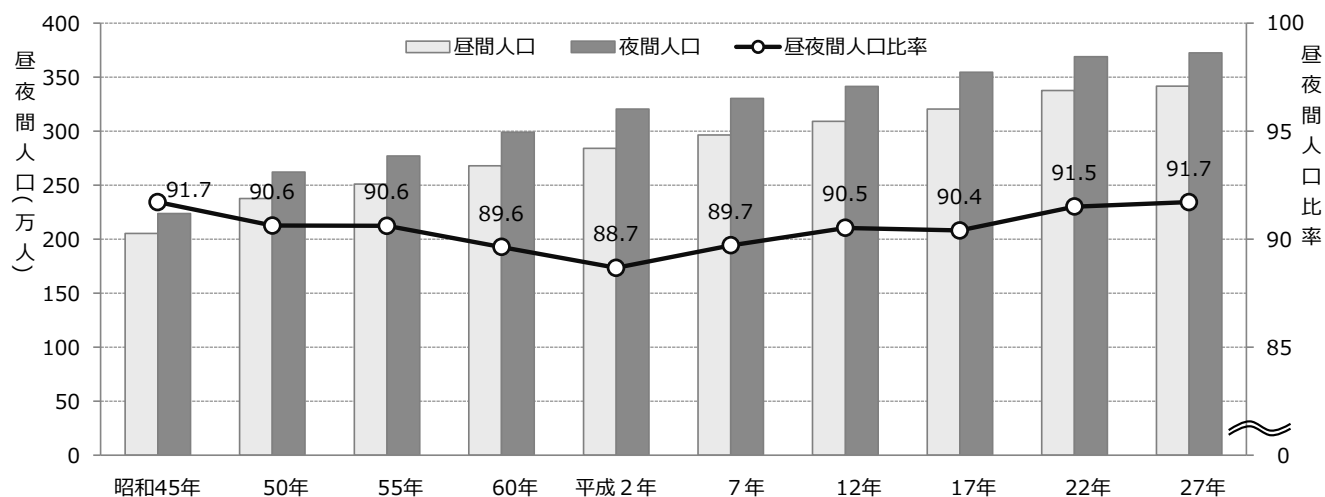


# 平成 27 年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果

## 横浜市 の 概 要



平成 29 年 8 月  
横浜市政策局統計情報課

# 目 次

用語の解説	1
Ⅰ 昼夜間人口比率	2
Ⅱ 従業地・通学地別人口	6
Ⅲ 横浜市に常住する15歳以上就業者・通学者	8
Ⅳ 横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者	14
Ⅴ 流出・流入人口（15歳以上通勤・通学者）	20
平成27年国勢調査の概要	32

## 利用上の注意

- この「横浜市の概要」は、平成29年6月28日に総務省統計局から公表された平成27年国勢調査の「従業地・通学地による人口・就業状態等集計（※）結果」のうち、横浜市分をまとめたものです。  
※「従業地・通学地による人口・就業状態等集計」… 全ての調査票を用いて、従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計したもの
- 結果数値は、表章単位未満を四捨五入しているために、総数と内訳の合計とは必ずしも一致しません。
- 割合は、分母から不詳を除いて算出しています。
- 表中の符号の用法は次のとおりです。  
「0.0」 …… 単位未満  
「-」 …… 皆無又は該当数値なし  
「△」 …… 負数

詳細な結果は、横浜市統計ポータルサイトまたは総務省統計局ホームページ「統計表一覧」をご覧ください。

◆横浜市統計ポータルサイトURL

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/census/kokucho/h27/>

◆総務省統計局URL

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/>

## － 用語の解説 －

### ○従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が従業している又は通学者が通学している場所をいい、本書においては次のとおり区分している。なお、運転者などのように戸外で仕事をしている者については、所属している事業所のある市区町村を従業地としている。

区分	内容
市内で従業・通学	従業地・通学地が横浜市の者
自宅で従業	従業地が自宅（自分の居住する家又は家に附属した店・作業場など）の者
自宅外の自区	従業地・通学地が「自宅」以外の自区の者
他区	従業地・通学地が横浜市内の他区区の者
市外で従業・通学	従業地・通学地が横浜市以外の者
県内	従業地・通学地が横浜市を除く神奈川県内の他市町村の者
他県	従業地・通学地が他の都道府県の者
不詳	
従業・通学市区町村「不詳・外国」	従業地・通学地が現在住んでいる行政区以外であるが、市区町村名が不明の者又は従業地が外国の者
従業地・通学地「不詳」	従業地・通学地が不明の者

### ○夜間人口（常住地による人口）

調査時（平成 27 年 10 月 1 日）に調査の地域に常住している者をいう。

### ○昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された者をいう。

なお、夜間勤務及び夜間通学の者も便宜昼間人口に含めているが、買い物客や観光客などは含めていない。

[例：昼間人口の算出方法]

$$\begin{aligned} \text{横浜市の昼間人口} &= \text{横浜市の夜間人口} - \text{横浜市からの流出人口}^{\text{注1)}} + \text{横浜市への流入人口}^{\text{注2)}} \\ \text{A区の昼間人口} &= \text{A区の夜間人口} - \text{A区からの流出人口}^{\text{注3)}} + \text{A区への流入人口}^{\text{注4)}} \end{aligned}$$

注1) 横浜市から横浜市以外への通勤・通学者数

注2) 横浜市以外から横浜市への通勤・通学者数

注3) A区からA区以外への通勤・通学者数

注4) A区以外からA区への通勤・通学者数

### ○昼夜間人口比率

次の式により算出され、100 を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100 を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している。

[例：A市の昼夜間人口比率の算出方法]

$$\text{A市の昼夜間人口比率} = (\text{A市の昼間人口} / \text{A市の夜間人口}) \times 100$$

### ○流出人口

当該地域から他の地域へ通勤・通学している人口(行政区では市内他区への通勤・通学を含む)

### ○流入人口

他の地域から当該地域へ通勤・通学している人口(行政区では市内他区からの通勤・通学を含む)

### ※その他の用語

その他の用語は、『平成 27 年国勢調査 調査結果の利用案内 ―ユーザーズガイドー』を参照してください。 <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>

# I 昼夜間人口比率

## 1 昼夜間人口比率は91.7、前回比0.2ポイント上昇

横浜市における昼間人口は3,416,060人となっており、昼夜間人口比率（夜間人口100人当たりの昼間人口）は91.7で、平成22年に比べ（以下「前回比」という）0.2ポイント上昇となっています。

また、平成2年以降上昇傾向となっています。

【表1-1、図1-1】

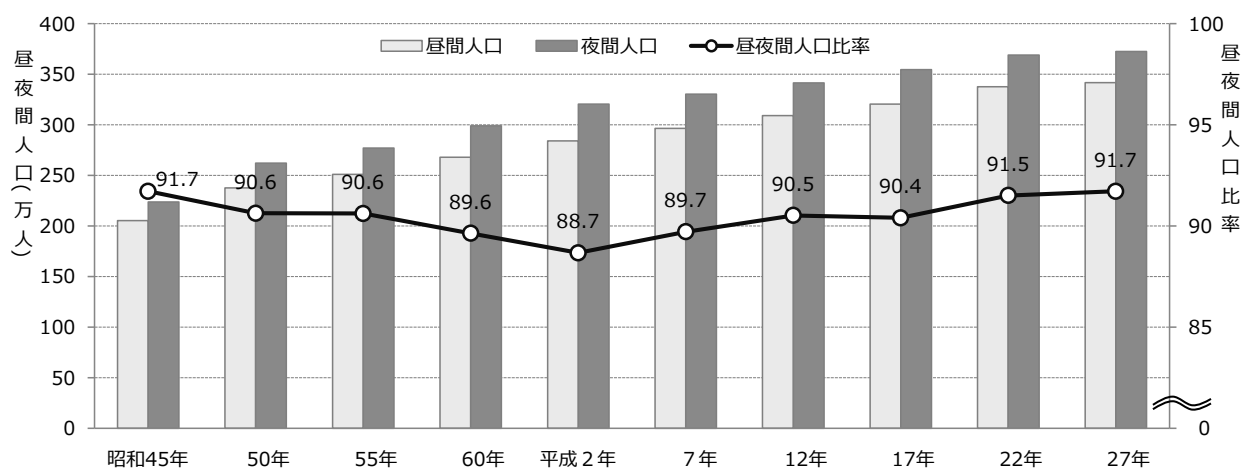
表1-1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移（昭和45年～平成27年）

年次	昼間人口 A 1)	夜間人口 (常住人口) B 1)	流出人口 C 2)	流入人口 D 2)	流入超過 人口 D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100
昭和45年	2,052,714	2,238,264	393,135	207,585	△185,550	91.7
50年	2,375,994	2,621,771	486,023	240,246	△245,777	90.6
55年	2,510,830	2,770,880	536,465	276,415	△260,050	90.6
60年	2,680,333	2,990,133	625,723	315,923	△309,800	89.6
平成2年	2,840,252	3,203,195	745,332	382,389	△362,943	88.7
7年	2,963,872	3,303,708	760,326	420,490	△339,836	89.7
12年	3,091,166	3,414,860	730,625	406,931	△323,694	90.5
17年	3,205,144	3,545,447	739,648	399,345	△340,303	90.4
22年	3,375,330	3,688,773	723,741	410,298	△313,443	91.5
27年	3,416,060	3,724,844	727,015	418,231	△308,784	91.7

1) 昭和55年～平成17年は、年齢不詳のものを集計から除いている。このため、夜間人口（常住人口）と国勢調査確定人口とは一致しないことがある。

2) 昭和45年～50年は、15歳未満を含まない。また、行政区間の移動を含まない。

図1-1 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率の推移（昭和45年～平成27年）



## 2 行政区別昼夜間人口比率は西区、中区、神奈川区で100を超え、他15区は100を下回る

昼間人口を行政区別にみると、港北区が321,887人と最も多く、次いで鶴見区が256,228人、戸塚区が240,167人となっています。

昼夜間人口比率を行政区別にみると、西区が186.0と最も高く、次いで中区(161.2)、神奈川区(100.1)となっており、他15区は100を下回っています。前回と比べると、西区(6.3ポイント上昇)、栄区(2.5ポイント上昇)など11区で上昇し、中区(5.4ポイント低下)、鶴見区(2.2ポイント低下)など7区で低下となっています。

【表1-2、図1-2】

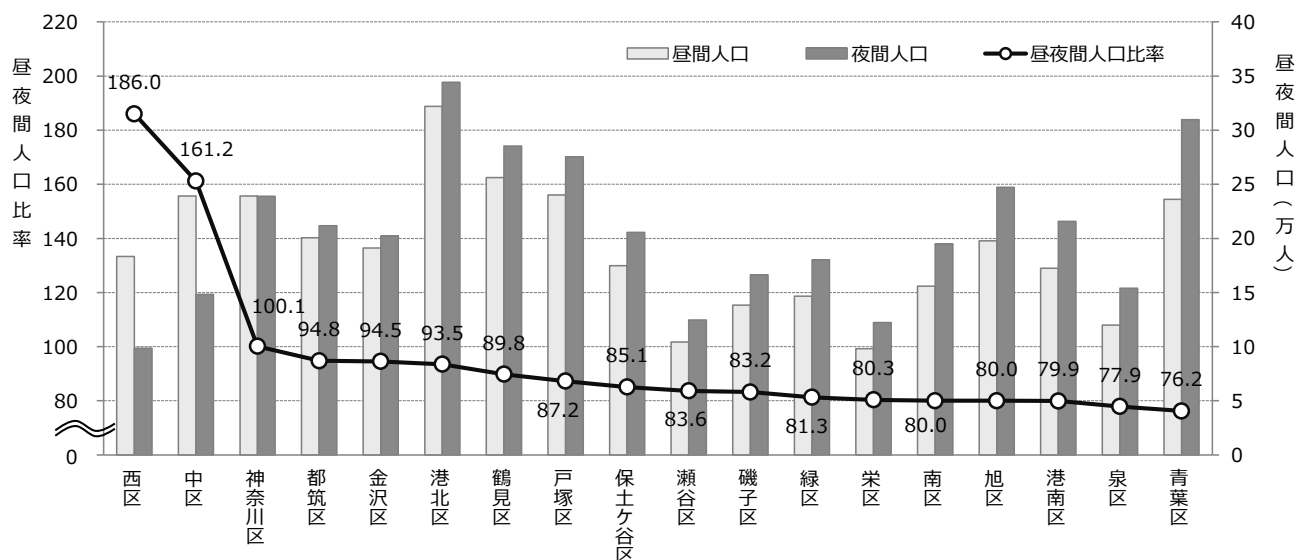
表1-2 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—行政区（平成27年）

行政区	昼間人口 A	夜間人口 (常住人口) B	流出人口			流入人口		
			総数 C	就業者	通学者	総数 D	就業者	通学者
横浜市	3,416,060	3,724,844	727,015	637,479	89,536	418,231	360,190	58,041
鶴見区	256,228	285,356	92,302	83,257	9,045	63,174	56,067	7,107
神奈川区	239,244	238,966	83,471	74,425	9,046	83,749	67,008	16,741
西区	183,315	98,532	33,976	30,161	3,815	118,759	112,597	6,162
中区	239,067	148,312	36,467	31,569	4,898	127,222	117,649	9,573
南区	155,922	194,827	64,601	57,627	6,974	25,696	20,305	5,391
港南区	172,449	215,736	73,923	64,401	9,522	30,636	27,303	3,333
保土ヶ谷区	174,863	205,493	70,633	61,789	8,844	40,003	32,026	7,977
旭区	197,752	247,144	78,522	68,979	9,543	29,130	24,690	4,440
磯子区	138,339	166,229	58,022	51,217	6,805	30,132	27,498	2,634
金沢区	191,207	202,229	61,439	53,343	8,096	50,417	40,589	9,828
港北区	321,887	344,172	119,609	104,864	14,745	97,324	80,823	16,501
緑区	146,608	180,366	65,175	56,967	8,208	31,417	23,719	7,698
青葉区	236,079	309,692	116,442	96,878	19,564	42,829	34,020	8,809
都筑区	200,667	211,751	71,750	59,320	12,430	60,666	55,422	5,244
戸塚区	240,167	275,283	89,948	77,486	12,462	54,832	46,361	8,471
栄区	98,138	122,171	42,191	36,718	5,473	18,158	14,586	3,572
泉区	119,946	154,025	52,916	45,445	7,471	18,837	15,421	3,416
瀬谷区	104,182	124,560	39,318	34,614	4,704	18,940	15,687	3,253

※カッコ内は順位

行政区	流入超過 人口 D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100	(参考)	
			平成22年 昼夜間 人口比率	平成22年 ～27年 ポイント差
横浜市	△308,784	91.7	91.5	0.2
鶴見区	△29,128	89.8 (7)	92.0 (7)	△2.2
神奈川区	278	100.1 (3)	99.9 (3)	0.2
西区	84,783	186.0 (1)	179.7 (1)	6.3
中区	90,755	161.2 (2)	166.6 (2)	△5.4
南区	△38,905	80.0 (14)	78.7 (14)	1.3
港南区	△43,287	79.9 (16)	78.4 (15)	1.5
保土ヶ谷区	△30,630	85.1 (9)	84.0 (9)	1.1
旭区	△49,392	80.0 (15)	78.8 (13)	1.2
磯子区	△27,890	83.2 (11)	83.8 (10)	△0.6
金沢区	△11,022	94.5 (5)	93.5 (6)	1.0
港北区	△22,285	93.5 (6)	94.0 (5)	△0.5
緑区	△33,758	81.3 (12)	82.6 (11)	△1.3
青葉区	△73,613	76.2 (18)	77.2 (18)	△1.0
都筑区	△11,084	94.8 (4)	96.4 (4)	△1.6
戸塚区	△35,116	87.2 (8)	87.0 (8)	0.2
栄区	△24,033	80.3 (13)	77.8 (17)	2.5
泉区	△34,079	77.9 (17)	77.8 (16)	0.1
瀬谷区	△20,378	83.6 (10)	82.1 (12)	1.5

図1-2 昼夜間人口比率、昼間人口及び夜間人口—行政区（平成27年）



3 21大都市では横浜市を含む5市で昼夜間人口比率が上昇

21大都市（政令指定都市と東京都区部）における昼夜間人口比率をみると、大阪市が131.7と最も高く、次いで東京都区部が129.8、名古屋市が112.8となっており、横浜市（91.7）は19番目となっています。

また、前回と比べると、横浜市（0.2ポイント上昇）のほか、京都市（0.5ポイント上昇）、千葉市（0.4ポイント上昇）、相模原市（0.4ポイント上昇）、さいたま市（0.2ポイント上昇）の計5市で上昇し、16都市で低下しています。【図1-3、表1-3】

図1-3 昼夜間人口比率、昼間人口及び夜間人口—21大都市（平成27年）

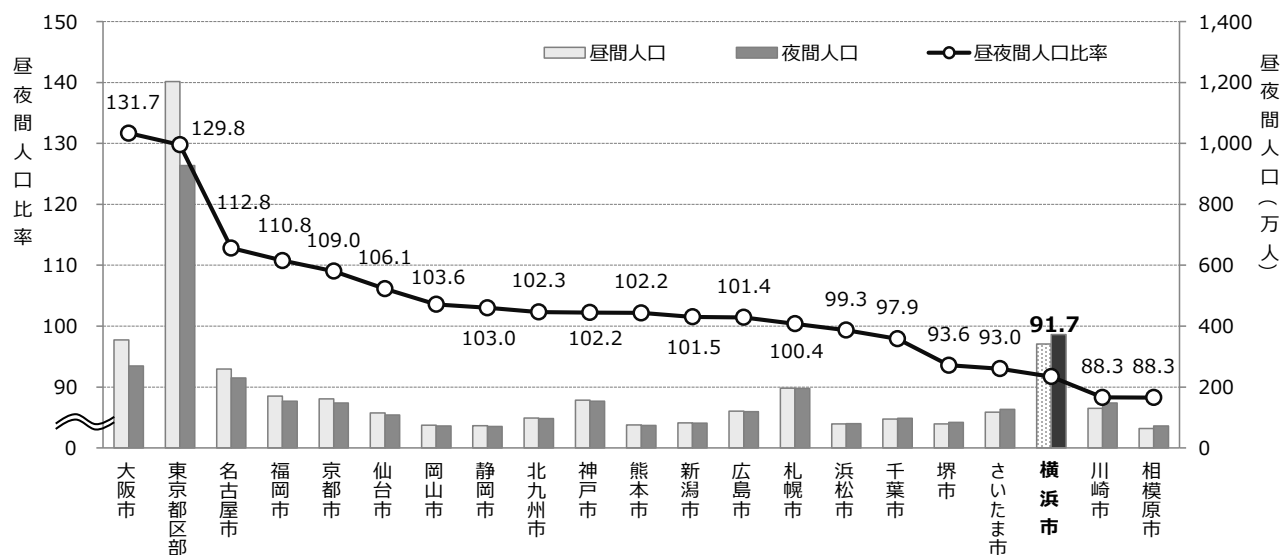


表 1-3 昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—21 大都市（平成 27 年）

都市名	昼間人口 A	夜間人口 (常住人口) B	流出人口			流入人口		
			総数 C	就業者	通学者	総数 D	就業者	通学者
札幌市	1,959,740	1,952,356	71,728	59,676	12,052	79,112	64,982	14,130
仙台市	1,148,389	1,082,159	62,597	55,599	6,998	128,827	105,503	23,324
さいたま市	1,175,579	1,263,979	308,577	269,505	39,072	220,177	186,848	33,329
千葉市	951,528	971,882	194,388	171,576	22,812	174,034	148,117	25,917
東京都区部	12,033,592	9,272,740	419,999	343,801	76,198	3,180,851	2,863,312	317,539
<b>横浜市</b>	<b>3,416,060</b>	<b>3,724,844</b>	<b>727,015</b>	<b>637,479</b>	<b>89,536</b>	<b>418,231</b>	<b>360,190</b>	<b>58,041</b>
川崎市	1,302,487	1,475,213	417,270	369,035	48,235	244,544	221,583	22,961
相模原市	636,218	720,780	165,545	144,687	20,858	80,983	65,796	15,187
新潟市	822,469	810,157	39,372	35,957	3,415	51,684	40,841	10,843
静岡市	726,136	704,989	31,934	28,039	3,895	53,081	43,835	9,246
浜松市	792,639	797,980	49,794	45,288	4,506	44,453	37,770	6,683
名古屋市	2,589,799	2,295,638	211,608	188,626	22,982	505,769	423,395	82,374
京都市	1,608,216	1,475,183	114,542	100,196	14,346	247,575	181,703	65,872
大阪市	3,543,449	2,691,185	239,797	197,772	42,025	1,092,061	1,007,861	84,200
堺市	785,324	839,310	173,307	150,396	22,911	119,321	105,243	14,078
神戸市	1,571,625	1,537,272	179,247	157,800	21,447	213,600	174,976	38,624
岡山市	745,199	719,474	53,232	47,512	5,720	78,957	63,619	15,338
広島市	1,211,020	1,194,034	71,997	64,110	7,887	88,983	74,389	14,594
北九州市	983,517	961,286	50,851	44,461	6,390	73,082	61,998	11,084
福岡市	1,704,218	1,538,681	82,123	71,988	10,135	247,660	206,638	41,022
熊本市	756,852	740,822	55,732	51,644	4,088	71,762	58,004	13,758

※カッコ内は順位

都市名	流入超過 人口 D-C	昼夜間 人口比率 A/B×100	(参考)	
			平成22年 昼夜間 人口比率	平成22年 ～27年 ポイント差
札幌市	7,384	100.4 (14)	100.6 (14)	△0.2
仙台市	66,230	106.1 (6)	107.3 (6)	△1.2
さいたま市	△88,400	93.0 (18)	92.8 (18)	0.2
千葉市	△20,354	97.9 (16)	97.5 (16)	0.4
東京都区部	2,760,852	129.8 (2)	130.9 (2)	△1.1
<b>横浜市</b>	<b>△308,784</b>	<b>91.7 (19)</b>	<b>91.5 (19)</b>	<b>0.2</b>
川崎市	△172,726	88.3 (20)	89.5 (20)	△1.2
相模原市	△84,562	88.3 (21)	87.9 (21)	0.4
新潟市	12,312	101.5 (12)	101.8 (13)	△0.3
静岡市	21,147	103.0 (8)	103.3 (8)	△0.3
浜松市	△5,341	99.3 (15)	99.7 (15)	△0.4
名古屋市	294,161	112.8 (3)	113.5 (3)	△0.7
京都市	133,033	109.0 (5)	108.5 (5)	0.5
大阪市	852,264	131.7 (1)	132.8 (1)	△1.1
堺市	△53,986	93.6 (17)	94.4 (17)	△0.8
神戸市	34,353	102.2 (10)	102.6 (11)	△0.4
岡山市	25,725	103.6 (7)	104.2 (7)	△0.6
広島市	16,986	101.4 (13)	102.1 (12)	△0.7
北九州市	22,231	102.3 (9)	102.7 (10)	△0.4
福岡市	165,537	110.8 (4)	111.9 (4)	△1.1
熊本市	16,030	102.2 (11)	103.1 (9)	注) △0.9

注) 熊本市は平成24年4月1日に政令指定都市へ移行

## II 従業地・通学地別人口

### 1 市内で従業する者の割合が高い

横浜市の人口（3,724,844人）における従業地・通学地別人口の割合をみると、「従業も通学もしていない」が37.9%、「市内で従業・通学」が39.5%、横浜市を除く「県内」が7.0%、「他県」が15.6%となっており、前回比「従業も通学もしていない」が1.2ポイント上昇、「市内で従業・通学」が1.7ポイント低下、「県内」が0.1ポイント上昇、「他県」が0.5ポイント上昇となっています。

また、就業者（1,673,920人）の従業地別人口の割合をみると、市内で従業する者が60.0%、市外で従業する者が40.0%となっています。 【表2-1、図2-1】

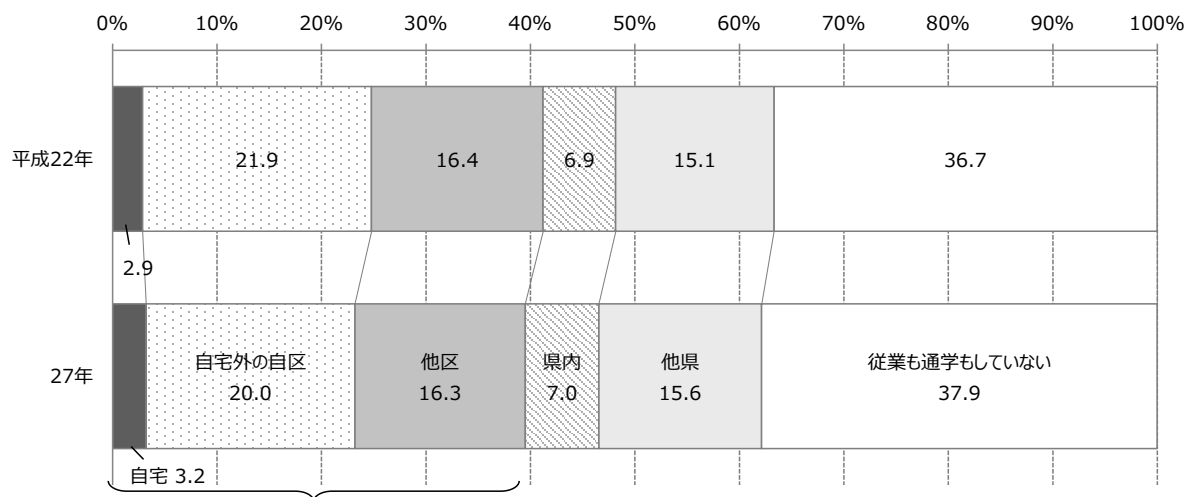
表2-1 従業地・通学地別人口（平成22年、27年）

従業地・通学地		平成27年		平成22年		対前回比	
		総数	うち就業者	総数	うち就業者	総数	うち就業者
実数	総数	3,724,844	1,673,920	3,688,773	1,703,382	36,071	△29,462
	従業も通学もしていない <sup>1)</sup>	1,216,320	-	1,201,381	-	14,939	-
	市内で従業・通学	1,269,557	954,293	1,350,541	990,581	△80,984	△36,288
	自宅で従業	104,081	104,081	94,914	94,914	9,167	9,167
	自宅外の自区	641,786	398,631	717,572	431,177	△75,786	△32,546
	他区	523,690	451,581	538,055	464,490	△14,365	△12,909
	市外で従業・通学	727,015	637,479	723,741	634,008	3,274	3,471
	県内	226,404	193,753	227,568	194,718	△1,164	△965
	他県	500,611	443,726	496,173	439,290	4,438	4,436
	不詳	511,952	82,148	413,110	78,793	98,842	3,355
割合（%） ・ ポイント差	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
	従業も通学もしていない <sup>1)</sup>	37.9	-	36.7	-	1.2	-
	市内で従業・通学	39.5	60.0	41.2	61.0	△1.7	△1.0
	自宅で従業	3.2	6.5	2.9	5.8	0.3	0.7
	自宅外の自区	20.0	25.0	21.9	26.5	△1.9	△1.5
	他区	16.3	28.4	16.4	28.6	△0.1	△0.2
	市外で従業・通学	22.6	40.0	22.1	39.0	0.5	1.0
	県内	7.0	12.2	6.9	12.0	0.1	0.2
	他県	15.6	27.9	15.1	27.0	0.5	0.9
	不詳	-	-	-	-	-	-

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」



図 2 - 1 従業地・通学地別人口（平成 22 年、27 年）



横浜市内で従業・通学

### Ⅲ 横浜市に常住する 15 歳以上就業者・通学者

#### 1 就業者、通学者ともに減少するも、「市内で従業・通学」の割合が高い

横浜市に常住する 15 歳以上就業者・通学者は 1,860,732 人で、このうち就業者は 1,673,913 人、通学者は 186,819 人となっており、前回比、総数は 33,922 人（1.8%）減少となり、うち就業者は 29,461 人（1.7%）減少、通学者は 4,461 人（2.3%）減少となっています。

従業地・通学地別の割合をみると、「市内で従業・通学」が 59.5%（前回比 1.0 ポイント低下）で、「市外で従業・通学」が 40.5%（前回比 1.0 ポイント上昇）となっています。

また、15 歳以上就業者の従業地別割合をみると、「市内で従業」が 60.0%で、前回比 1.0 ポイント低下となっています。

【図 3-1、図 3-2、表 3-1】

図 3-1 従業地・通学地別 15 歳以上就業者・通学者の割合（平成 22 年、27 年）

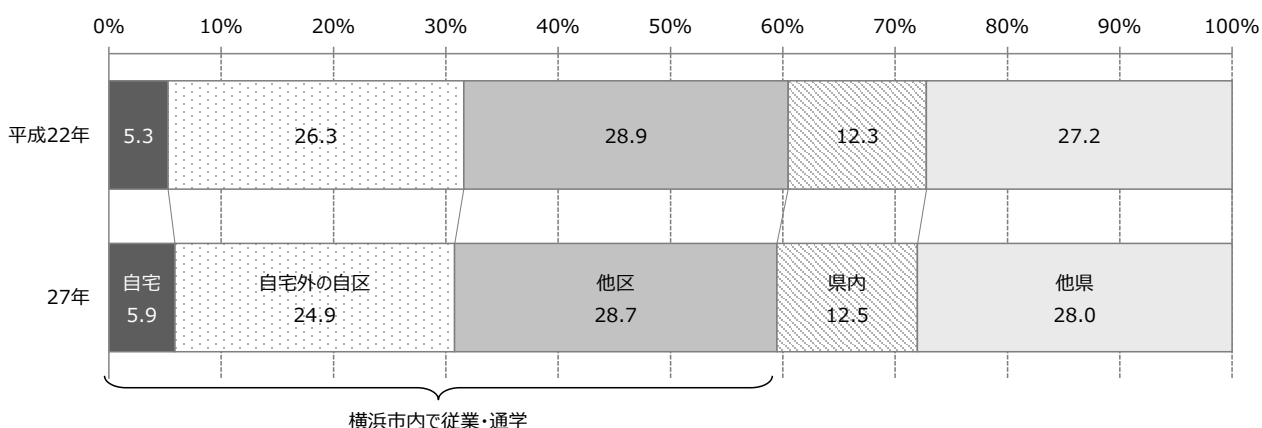


図 3-2 従業地・通学地別 15 歳以上就業者・通学者の割合（平成 27 年）

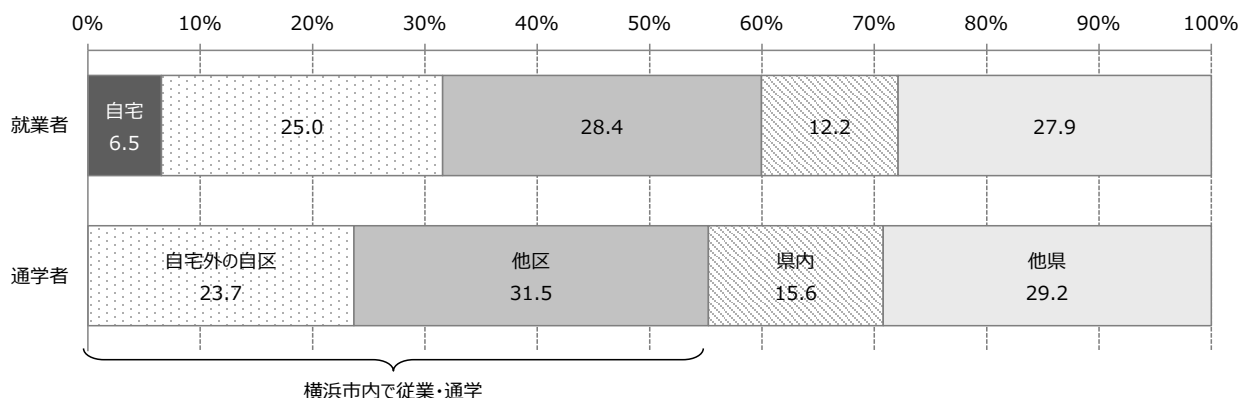


表3-1 従業地・通学地別 15歳以上就業者・通学者（平成22年、27年）

従業地・通学地	実数		割合		対前回比		
	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年	割合 ポイント差	増減数	増減率
<b>総数(15歳以上就業者・通学者)</b>	<b>1,860,732</b>	<b>1,894,654</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	<b>△33,922</b>	<b>△1.8</b>
市内で従業・通学	1,053,385	1,090,050	59.5	60.5	△1.0	△36,665	△3.4
自宅で従業	104,081	94,914	5.9	5.3	0.6	9,167	9.7
市内で通勤・通学	949,304	995,136	53.6	55.2	△1.6	△45,832	△4.6
自区	441,130	474,699	24.9	26.3	△1.4	△33,569	△7.1
他区	508,174	520,437	28.7	28.9	△0.2	△12,263	△2.4
市外で従業・通学	717,782	712,377	40.5	39.5	1.0	5,405	0.8
県内	221,656	221,875	12.5	12.3	0.2	△219	△0.1
他県	496,126	490,502	28.0	27.2	0.8	5,624	1.1
うち東京都区部	434,302	437,253	24.5	24.3	0.2	△2,951	△0.7
不詳	89,565	92,227	-	-	-	△2,662	△2.9
<b>就業者(15歳以上)</b>	<b>1,673,913</b>	<b>1,703,374</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	<b>△29,461</b>	<b>△1.7</b>
市内で従業	954,292	990,578	60.0	61.0	△1.0	△36,286	△3.7
自宅で従業	104,081	94,914	6.5	5.8	0.7	9,167	9.7
市内で通勤	850,211	895,664	53.4	55.1	△1.7	△45,453	△5.1
自区	398,630	431,176	25.0	26.5	△1.5	△32,546	△7.5
他区	451,581	464,488	28.4	28.6	△0.2	△12,907	△2.8
市外で従業	637,474	634,005	40.0	39.0	1.0	3,469	0.5
県内	193,753	194,717	12.2	12.0	0.2	△964	△0.5
他県	443,721	439,288	27.9	27.0	0.9	4,433	1.0
うち東京都区部	396,327	399,913	24.9	24.6	0.3	△3,586	△0.9
不詳	82,147	78,791	-	-	-	3,356	4.3
<b>通学者(15歳以上)</b>	<b>186,819</b>	<b>191,280</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	<b>△4,461</b>	<b>△2.3</b>
市内で通学	99,093	99,472	55.2	55.9	△0.7	△379	△0.4
自区	42,500	43,523	23.7	24.5	△0.8	△1,023	△2.4
他区	56,593	55,949	31.5	31.5	-	644	1.2
市外で通学	80,308	78,372	44.8	44.1	0.7	1,936	2.5
県内	27,903	27,158	15.6	15.3	0.3	745	2.7
他県	52,405	51,214	29.2	28.8	0.4	1,191	2.3
うち東京都区部	37,975	37,340	21.2	21.0	0.2	635	1.7
不詳	7,418	13,436	-	-	-	△6,018	△44.8

## 2 市外で従業・通学する者の割合は、青葉区が最も高い

横浜市に常住する15歳以上就業者・通学者を行政区別にみると、「市内で従業・通学」の割合は南区が69.7%と最も高く、次いで磯子区(68.8%)、港南区(67.0%)となっています。

また、「市外で従業・通学」の割合は青葉区が57.2%と最も高く、次いで鶴見区(50.5%)、港北区(48.8%)となっています。このうち、東京都区部へ従業・通学する者の割合をみると、青葉区が38.8%と最も高く、次いで港北区(35.2%)、鶴見区(30.3%)となっています。【表3-2】

表3-2 従業地・通学地別15歳以上就業者・通学者—行政区(平成27年)

行政区	15歳以上就業者・通学者								
	総数 <sup>1)</sup>	市内で従業・通学				市外で従業・通学			
		総数	自宅で従業	自宅外の自区	他区	総数	県内	他県	うち東京都区部
<b>横浜市</b>	<b>1,860,732</b>	<b>1,053,385</b>	<b>104,081</b>	<b>441,130</b>	<b>508,174</b>	<b>717,782</b>	<b>221,656</b>	<b>496,126</b>	<b>434,302</b>
鶴見区	146,814	68,238	8,390	38,212	21,636	69,488	23,632	45,856	41,793
神奈川区	122,847	70,379	7,018	27,104	36,257	45,195	11,073	34,122	30,459
西区	49,894	27,423	3,119	10,630	13,674	19,191	4,517	14,674	13,309
中区	66,844	40,992	4,616	21,869	14,507	20,809	4,596	16,213	14,648
南区	93,781	61,434	5,779	18,830	36,825	26,767	8,352	18,415	16,426
港南区	105,689	67,859	5,362	23,320	39,177	33,474	11,822	21,652	19,127
保土ヶ谷区	101,843	63,221	5,653	22,124	35,444	33,604	9,884	23,720	20,932
旭区	118,700	74,856	6,253	28,332	40,271	37,311	14,796	22,515	18,915
磯子区	81,864	53,840	3,920	17,556	32,364	24,359	8,143	16,216	14,396
金沢区	101,471	62,865	4,937	32,389	25,539	35,190	14,944	20,246	17,906
港北区	177,057	85,767	10,457	39,964	35,346	81,886	16,612	65,274	59,019
緑区	92,359	54,417	4,844	19,430	30,143	34,238	10,317	23,921	18,370
青葉区	162,790	67,012	9,587	33,605	23,820	89,668	18,373	71,295	60,740
都筑区	111,425	63,517	6,622	30,546	26,349	43,665	10,529	33,136	28,556
戸塚区	136,385	78,115	6,716	36,438	34,961	52,736	18,998	33,738	30,093
栄区	57,336	32,714	3,047	11,033	18,634	22,571	10,958	11,613	10,159
泉区	74,982	45,991	4,368	16,291	25,332	26,652	12,646	14,006	11,917
瀬谷区	58,651	34,745	3,393	13,457	17,895	20,978	11,464	9,514	7,537
<b>横浜市</b>	<b>100.0</b>	<b>59.5</b>	<b>5.9</b>	<b>24.9</b>	<b>28.7</b>	<b>40.5</b>	<b>12.5</b>	<b>28.0</b>	<b>24.5</b>
鶴見区	100.0	49.5	6.1	27.7	15.7	50.5	17.2	33.3	30.3
神奈川区	100.0	60.9	6.1	23.5	31.4	39.1	9.6	29.5	26.4
西区	100.0	58.8	6.7	22.8	29.3	41.2	9.7	31.5	28.6
中区	100.0	66.3	7.5	35.4	23.5	33.7	7.4	26.2	23.7
南区	100.0	69.7	6.6	21.3	41.8	30.3	9.5	20.9	18.6
港南区	100.0	67.0	5.3	23.0	38.7	33.0	11.7	21.4	18.9
保土ヶ谷区	100.0	65.3	5.8	22.8	36.6	34.7	10.2	24.5	21.6
旭区	100.0	66.7	5.6	25.3	35.9	33.3	13.2	20.1	16.9
磯子区	100.0	68.8	5.0	22.5	41.4	31.2	10.4	20.7	18.4
金沢区	100.0	64.1	5.0	33.0	26.0	35.9	15.2	20.6	18.3
港北区	100.0	51.2	6.2	23.8	21.1	48.8	9.9	38.9	35.2
緑区	100.0	61.4	5.5	21.9	34.0	38.6	11.6	27.0	20.7
青葉区	100.0	42.8	6.1	21.4	15.2	57.2	11.7	45.5	38.8
都筑区	100.0	59.3	6.2	28.5	24.6	40.7	9.8	30.9	26.6
戸塚区	100.0	59.7	5.1	27.8	26.7	40.3	14.5	25.8	23.0
栄区	100.0	59.2	5.5	20.0	33.7	40.8	19.8	21.0	18.4
泉区	100.0	63.3	6.0	22.4	34.9	36.7	17.4	19.3	16.4
瀬谷区	100.0	62.4	6.1	24.1	32.1	37.6	20.6	17.1	13.5

1) 実数は従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」を含む。

### 3 就業者は男女とも「市内で従業」の割合が高い

横浜市に常住する15歳以上就業者の男女別従業地別の割合をみると、男女とも「市内で従業」がそれぞれ51.7%、71.2%で、「市外で従業」（男性48.3%、女性28.8%）を上回っています。

【表3-3、表3-4】

表3-3 男女、年齢（5歳階級）、従業地別15歳以上就業者の割合（平成22年、27年）

男女 従業地		15歳以上就業者の従業地別割合(%)															
		総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	(再掲) 65歳 以上	
平成 27 年	男	市内で従業	51.7	67.3	57.4	54.0	50.4	48.5	47.9	45.1	44.3	47.2	55.5	66.9	74.3	81.3	71.3
		自宅	6.2	1.0	1.5	1.9	2.6	3.3	4.1	4.9	5.4	6.7	8.9	14.5	20.8	37.8	20.1
		自宅外の自区 他区	18.0 27.5	37.2 29.1	27.7 28.2	21.6 30.6	17.9 29.8	16.0 29.2	15.3 28.6	14.1 26.2	13.6 25.3	14.4 26.1	18.5 28.1	25.1 27.3	29.5 24.0	26.7 16.8	26.6 24.6
	女	市内で従業	71.2	67.5	55.9	55.8	59.1	64.6	71.3	74.6	76.7	79.5	83.6	86.7	89.3	92.1	88.3
		自宅	7.0	0.6	0.9	2.0	3.9	5.0	5.2	5.3	6.3	8.0	10.9	16.3	25.9	47.7	24.2
		自宅外の自区 他区	34.6 29.6	35.5 31.3	24.8 30.1	21.3 32.4	23.6 31.5	29.3 30.4	36.5 29.6	39.6 29.6	40.1 30.3	40.9 30.6	44.0 28.7	45.0 25.3	42.1 21.2	31.2 13.1	41.9 22.1
平成 22 年	男	市内で従業	53.1	75.5	62.9	54.6	51.2	49.6	46.6	45.2	46.8	51.4	58.3	69.6	76.5	82.3	73.6
		自宅	5.5	0.6	0.8	1.4	2.3	3.0	3.9	4.4	5.4	6.4	9.3	14.1	21.4	36.9	20.0
		自宅外の自区 他区	19.9 27.7	44.7 30.2	31.9 30.2	22.3 30.9	18.5 30.4	17.3 29.4	15.9 26.8	15.1 25.7	15.3 26.1	17.6 27.5	21.2 27.9	29.0 26.5	32.7 22.3	31.1 14.2	30.3 23.3
	女	市内で従業	46.9	24.5	37.1	45.4	48.8	50.4	53.4	54.8	53.2	48.6	41.7	30.4	23.5	17.7	26.4
		自宅	14.1	11.0	13.1	14.8	15.0	15.1	15.2	15.1	14.9	14.5	12.9	10.1	7.4	4.8	8.5
		自宅外の自区 他区	32.8 14.1	13.5 11.0	24.0 13.1	30.7 14.8	33.8 15.0	35.2 15.1	38.3 15.2	39.7 15.1	38.3 14.9	34.0 14.5	28.8 12.9	20.3 10.1	16.2 7.4	12.9 4.8	17.9 8.5
平成 22 年	男	市内で従業	72.5	76.3	61.7	56.6	59.5	67.0	73.4	77.3	79.6	82.1	84.5	87.9	90.5	93.2	89.5
		自宅	6.3	0.3	0.5	1.3	2.8	4.6	5.1	5.3	6.3	7.9	11.2	17.6	28.4	46.1	25.5
		自宅外の自区 他区	36.3 29.8	43.7 32.2	28.1 33.1	22.2 33.1	24.7 32.0	32.1 30.3	39.3 29.0	42.3 29.7	42.7 30.7	44.1 30.1	45.8 27.5	46.9 23.4	43.5 18.6	36.6 10.6	44.2 19.9
	女	市内で従業	27.5	23.7	38.3	43.4	40.5	33.0	26.6	22.7	20.4	17.9	15.5	12.1	9.5	6.8	10.5
		自宅	8.9	10.1	11.4	11.4	10.8	9.6	8.5	8.3	8.2	7.7	7.2	5.6	4.1	2.7	4.7
		自宅外の自区 他区	18.6 8.9	13.6 10.1	26.8 11.4	32.0 11.4	29.6 10.8	23.4 9.6	18.1 8.5	14.4 8.3	12.2 8.2	10.2 7.7	8.2 7.2	6.4 5.6	5.4 4.1	4.1 2.7	5.8 4.7

表3-4 男女、年齢（5歳階級）、従業地別15歳以上就業者（平成22年、27年）

男女 従業地		総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
平成 27 年	男(15歳以上就業者)	970,876	11,898	49,200	71,951	87,041	104,714	129,807
	市内で従業	475,439	7,764	26,347	35,794	40,931	47,958	59,040
	自宅	57,244	115	702	1,229	2,118	3,290	5,015
	自宅外の自区	165,692	4,293	12,704	14,288	14,573	15,805	18,811
	他区	252,503	3,356	12,941	20,277	24,240	28,863	35,214
	市外で従業	443,553	3,779	19,571	30,504	40,307	50,940	64,254
	県内	131,681	1,459	6,149	10,133	12,692	15,209	19,037
	他県	311,872	2,320	13,422	20,371	27,615	35,731	45,217
	不詳	51,884	355	3,282	5,653	5,803	5,816	6,513
	女(15歳以上就業者)	703,037	12,561	49,654	63,517	64,528	71,548	93,081
	市内で従業	478,853	8,307	26,488	33,549	36,100	44,136	63,947
	自宅	46,837	78	446	1,220	2,410	3,391	4,657
	自宅外の自区	232,938	4,373	11,764	12,819	14,418	20,016	32,753
	他区	199,078	3,856	14,278	19,510	19,272	20,729	26,537
市外で従業	193,921	4,008	20,876	26,600	24,989	24,148	25,691	
県内	62,072	1,397	5,764	7,103	6,697	6,952	8,166	
他県	131,849	2,611	15,112	19,497	18,292	17,196	17,525	
不詳	30,263	246	2,290	3,368	3,439	3,264	3,443	
平成 22 年	男(15歳以上就業者)	1,015,632	12,701	54,738	86,593	106,346	134,659	132,532
	市内で従業	511,653	9,194	32,666	44,539	51,764	63,666	58,935
	自宅	52,971	71	408	1,166	2,333	3,884	4,912
	自宅外の自区	191,283	5,447	16,582	18,171	18,692	22,129	20,146
	他区	267,399	3,676	15,676	25,202	30,739	37,653	33,877
	市外で従業	451,981	2,979	19,279	37,101	49,381	64,580	67,629
	県内	135,615	1,334	6,819	12,076	15,150	19,426	19,202
	他県	316,366	1,645	12,460	25,025	34,231	45,154	48,427
	不詳	51,998	528	2,793	4,953	5,201	6,413	5,968
	女(15歳以上就業者)	687,742	12,585	53,936	72,417	71,118	81,620	83,615
	市内で従業	478,925	9,303	32,051	39,324	40,747	52,729	59,408
	自宅	41,943	42	272	922	1,905	3,627	4,138
	自宅外の自区	239,893	5,334	14,570	15,427	16,932	25,240	31,780
	他区	197,089	3,927	17,209	22,975	21,910	23,862	23,490
市外で従業	182,024	2,896	19,888	30,187	27,694	25,988	21,530	
県内	59,102	1,233	5,947	7,957	7,421	7,546	6,895	
他県	122,922	1,663	13,941	22,230	20,273	18,442	14,635	
不詳	26,793	386	1,997	2,906	2,677	2,903	2,677	

45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲) 65歳以上	男女 従業地	
127,275	111,094	88,554	77,950	61,371	29,744	20,277	111,392	男	平成 27年
54,815	47,383	40,428	41,596	38,911	20,407	14,065	73,383	市内で従業	
5,905	5,806	5,737	6,639	8,436	5,716	6,536	20,688	自宅	
17,138	14,560	12,313	13,856	14,618	8,107	4,626	27,351	自宅外の自区	
31,772	27,017	22,378	21,101	15,857	6,584	2,903	25,344	他区	
66,624	59,489	45,154	33,405	19,230	7,058	3,238	29,526	市外で従業	
18,835	16,226	12,328	9,984	6,249	2,425	955	9,629	県内	
47,789	43,263	32,826	23,421	12,981	4,633	2,283	19,897	他県	
5,836	4,222	2,972	2,949	3,230	2,279	2,974	8,483	不詳	
92,646	78,780	60,141	47,745	37,324	18,580	12,932	68,836	女	
66,967	58,831	46,511	38,486	30,593	15,061	9,877	55,531	市内で従業	
4,792	4,868	4,687	5,033	5,756	4,377	5,122	15,255	自宅	
35,559	30,734	23,919	20,240	15,888	7,109	3,346	26,343	自宅外の自区	
26,616	23,229	17,905	13,213	8,949	3,575	1,409	13,933	他区	
22,839	17,875	11,977	7,541	4,712	1,813	852	7,377	市外で従業	
7,776	6,541	4,818	3,341	2,327	836	354	3,517	県内	
15,063	11,334	7,159	4,200	2,385	977	498	3,860	他県	
2,840	2,074	1,653	1,718	2,019	1,706	2,203	5,928	不詳	
115,715	93,823	94,969	92,252	50,563	24,092	16,649	91,304	男	平成 22年
49,998	42,079	46,647	50,971	32,593	16,666	11,935	61,194	市内で従業	
4,847	4,879	5,765	8,085	6,600	4,667	5,354	16,621	自宅	
16,669	13,746	15,937	18,536	13,570	7,139	4,519	25,228	自宅外の自区	
28,482	23,454	24,945	24,350	12,423	4,860	2,062	19,345	他区	
60,636	47,922	44,093	36,418	14,256	5,133	2,574	21,963	市外で従業	
16,663	13,451	13,202	11,254	4,725	1,612	701	7,038	県内	
43,973	34,471	30,891	25,164	9,531	3,521	1,873	14,925	他県	
5,081	3,822	4,229	4,863	3,714	2,293	2,140	8,147	不詳	
78,014	64,900	60,376	55,588	29,807	13,516	10,250	53,573	女	
58,591	50,181	47,909	44,873	24,438	11,089	8,282	43,809	市内で従業	
4,054	3,964	4,588	5,971	4,885	3,484	4,091	12,460	自宅	
32,037	26,888	25,761	24,296	13,047	5,329	3,252	21,628	自宅外の自区	
22,500	19,329	17,560	14,606	6,506	2,276	939	9,721	他区	
17,225	12,828	10,465	8,208	3,352	1,162	601	5,115	市外で従業	
6,299	5,158	4,508	3,843	1,560	499	236	2,295	県内	
10,926	7,670	5,957	4,365	1,792	663	365	2,820	他県	
2,198	1,891	2,002	2,507	2,017	1,265	1,367	4,649	不詳	

## IV 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者

### 1 市外からの通勤・通学者の割合が増加

横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者は 1,555,387 人で、このうち就業者は 1,396,629 人、通学者は 158,758 人となっており、前回比、総数は 30,762 人 (1.9%) 減少となり、うち就業者は 26,670 人 (1.9%) 減少、通学者は 4,092 人 (2.5%) 減少となっています。

常住地別の割合をみると、「市内に常住」が 71.9% (前回比 1.1 ポイント低下)、「市外に常住」が 28.1% (前回比 1.1 ポイント上昇) となっています。

また、15 歳以上就業者の常住地別割合をみると、「市内に常住」が 72.6% で、前回比 1.1 ポイント低下となっています。

【図 4-1、図 4-2、表 4-1】

図 4-1 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地別割合

(平成 22 年、27 年)

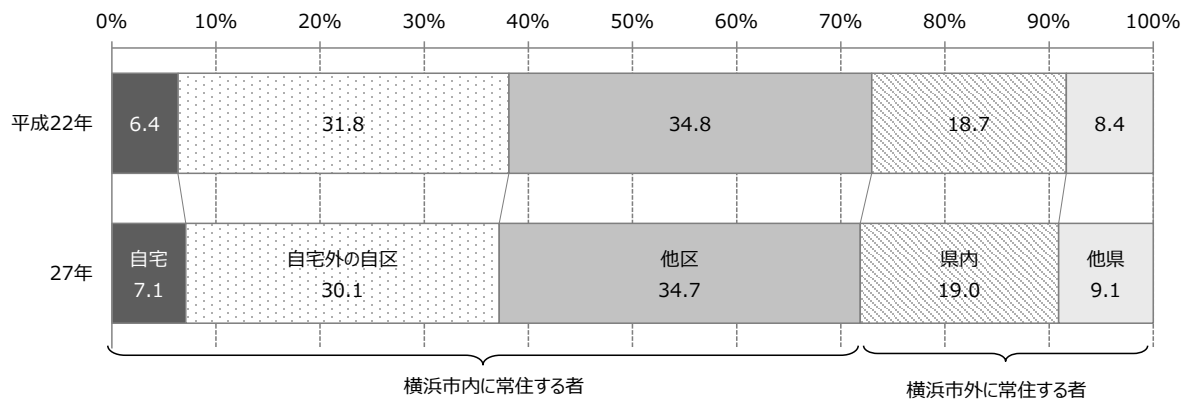


図 4-2 横浜市を従業地・通学地とする 15 歳以上就業者・通学者の常住地別割合

(平成 27 年)

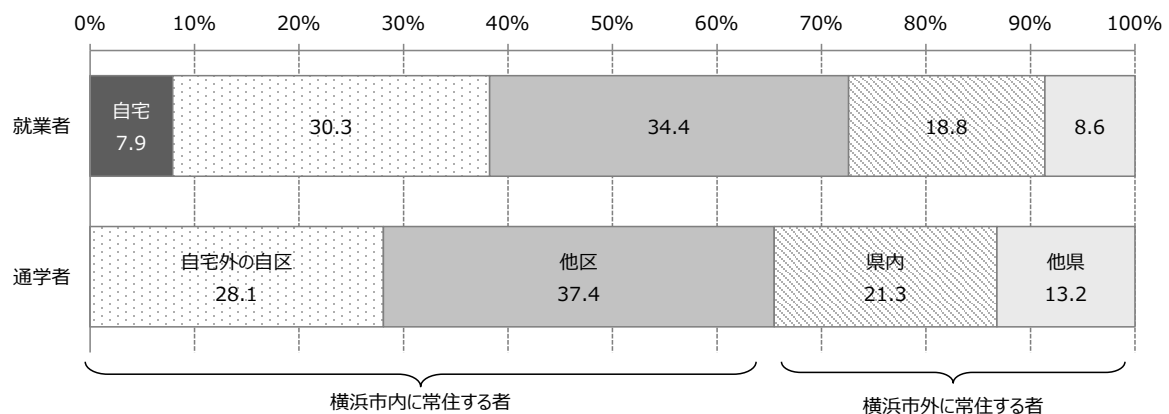




表4-1 横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者の常住地別人口

(平成22年、27年)

常住地	実数		割合		対前回比		
	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年	割合 ポイント差	増減数	増減率
<b>総数(15歳以上就業者・通学者)</b>	<b>1,555,387</b>	<b>1,586,149</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	<b>△30,762</b>	<b>△1.9</b>
市内に常住	1,053,385	1,090,050	71.9	73.0	△1.1	△36,665	△3.4
自宅で従業	104,081	94,914	7.1	6.4	0.7	9,167	9.7
市内で通勤・通学	949,304	995,136	64.8	66.6	△1.8	△45,832	△4.6
自区	441,130	474,699	30.1	31.8	△1.7	△33,569	△7.1
他区	508,174	520,437	34.7	34.8	△0.1	△12,263	△2.4
市外に常住	412,437	403,872	28.1	27.0	1.1	8,565	2.1
県内	279,163	279,107	19.0	18.7	0.3	56	0.0
他県	133,274	124,765	9.1	8.4	0.7	8,509	6.8
不詳 <sup>1)</sup>	89,565	92,227	-	-	-	△2,662	△2.9
<b>就業者(15歳以上)</b>	<b>1,396,629</b>	<b>1,423,299</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	<b>△26,670</b>	<b>△1.9</b>
市内に常住	954,292	990,578	72.6	73.7	△1.1	△36,286	△3.7
自宅で従業	104,081	94,914	7.9	7.1	0.8	9,167	9.7
市内で通勤	850,211	895,664	64.7	66.6	△1.9	△45,453	△5.1
自区	398,630	431,176	30.3	32.1	△1.8	△32,546	△7.5
他区	451,581	464,488	34.4	34.5	△0.1	△12,907	△2.8
市外に常住	360,190	353,930	27.4	26.3	1.1	6,260	1.8
県内	246,906	247,794	18.8	18.4	0.4	△888	△0.4
他県	113,284	106,136	8.6	7.9	0.7	7,148	6.7
不詳 <sup>1)</sup>	82,147	78,791	-	-	-	3,356	4.3
<b>通学者(15歳以上)</b>	<b>158,758</b>	<b>162,850</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	<b>△4,092</b>	<b>△2.5</b>
市内に常住	99,093	99,472	65.5	66.6	△1.1	△379	△0.4
自区	42,500	43,523	28.1	29.1	△1.0	△1,023	△2.4
他区	56,593	55,949	37.4	37.4	-	644	1.2
市外に常住	52,247	49,942	34.5	33.4	1.1	2,305	4.6
県内	32,257	31,313	21.3	21.0	0.3	944	3.0
他県	19,990	18,629	13.2	12.5	0.7	1,361	7.3
不詳 <sup>1)</sup>	7,418	13,436	-	-	-	△6,018	△44.8

1) 従業地・通学地「不詳・外国」(平成22年は従業地・通学地「不詳」)で横浜市に常住している者。

## 2 市外からの通勤・通学者の割合は、西区、港北区、神奈川区で高い

横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者を行政区別にみると、「市内に常住」の割合は南区が87.1%と最も高くなっており、このうち自宅従業者を除く「自区」に常住する者の割合は旭区(44.8%)が最も高く、「他区」に常住する者の割合は中区(50.7%)が最も高くなっています。

また、「市外に常住」の割合は西区が41.1%と最も高く、次いで港北区(33.5%)、神奈川区(32.4%)となっており、このうち東京都区部に常住する者の割合をみると、西区が7.4%、港北区が7.1%、鶴見区が5.8%となっています。

【表4-2】

表4-2 横浜市を従業地・通学地とする15歳以上就業者・通学者の常住地別人口一行政区  
(平成27年)

行政区	15歳以上就業者・通学者								
	総数 <sup>1)</sup>	市内に常住				市外に常住			
		総数	自宅 従業	自宅外 自区	他区	総数	県内	他県	うち 東京都 区部
<b>横浜市</b>	<b>1,555,387</b>	<b>1,053,385</b>	<b>104,081</b>	<b>441,130</b>	<b>508,174</b>	<b>412,437</b>	<b>279,163</b>	<b>133,274</b>	<b>59,279</b>
鶴見区	118,246	76,765	8,390	38,212	30,163	32,393	20,947	11,446	6,385
神奈川区	122,734	78,099	7,018	27,104	43,977	37,362	23,658	13,704	6,264
西区	135,304	77,783	3,119	10,630	64,034	54,241	35,187	19,054	9,784
中区	155,508	102,753	4,616	21,869	76,268	47,712	33,140	14,572	7,147
南区	53,807	41,994	5,779	18,830	17,385	6,233	4,981	1,252	652
港南区	62,813	49,055	5,362	23,320	20,373	9,402	7,550	1,852	871
保土ヶ谷区	71,595	52,800	5,653	22,124	25,023	13,777	9,227	4,550	2,012
旭区	69,812	52,969	6,253	28,332	18,384	10,310	8,575	1,735	514
磯子区	54,823	40,852	3,920	17,556	19,376	10,306	7,469	2,837	1,125
金沢区	90,195	62,653	4,937	32,389	25,327	24,126	20,383	3,743	1,789
港北区	155,489	97,186	10,457	39,964	46,765	48,899	25,734	23,165	10,364
緑区	57,689	39,592	4,844	19,430	15,318	14,393	8,298	6,095	1,572
青葉区	90,495	57,261	9,587	33,605	14,069	27,124	16,514	10,610	3,515
都筑区	101,025	70,922	6,622	30,546	33,754	25,860	16,696	9,164	3,573
戸塚区	102,572	71,488	6,716	36,438	28,334	25,550	19,384	6,166	2,628
栄区	33,546	23,165	3,047	11,033	9,085	8,330	7,125	1,205	500
泉区	41,359	31,543	4,368	16,291	10,884	7,477	6,490	987	345
瀬谷区	38,375	26,505	3,393	13,457	9,655	8,942	7,805	1,137	239
<b>横浜市</b>	<b>100.0</b>	<b>71.9</b>	<b>7.1</b>	<b>30.1</b>	<b>34.7</b>	<b>28.1</b>	<b>19.0</b>	<b>9.1</b>	<b>4.0</b>
鶴見区	100.0	70.3	7.7	35.0	27.6	29.7	19.2	10.5	5.8
神奈川区	100.0	67.6	6.1	23.5	38.1	32.4	20.5	11.9	5.4
西区	100.0	58.9	2.4	8.1	48.5	41.1	26.7	14.4	7.4
中区	100.0	68.3	3.1	14.5	50.7	31.7	22.0	9.7	4.7
南区	100.0	87.1	12.0	39.0	36.0	12.9	10.3	2.6	1.4
港南区	100.0	83.9	9.2	39.9	34.9	16.1	12.9	3.2	1.5
保土ヶ谷区	100.0	79.3	8.5	33.2	37.6	20.7	13.9	6.8	3.0
旭区	100.0	83.7	9.9	44.8	29.1	16.3	13.6	2.7	0.8
磯子区	100.0	79.9	7.7	34.3	37.9	20.1	14.6	5.5	2.2
金沢区	100.0	72.2	5.7	37.3	29.2	27.8	23.5	4.3	2.1
港北区	100.0	66.5	7.2	27.4	32.0	33.5	17.6	15.9	7.1
緑区	100.0	73.3	9.0	36.0	28.4	26.7	15.4	11.3	2.9
青葉区	100.0	67.9	11.4	39.8	16.7	32.1	19.6	12.6	4.2
都筑区	100.0	73.3	6.8	31.6	34.9	26.7	17.3	9.5	3.7
戸塚区	100.0	73.7	6.9	37.6	29.2	26.3	20.0	6.4	2.7
栄区	100.0	73.6	9.7	35.0	28.8	26.4	22.6	3.8	1.6
泉区	100.0	80.8	11.2	41.8	27.9	19.2	16.6	2.5	0.9
瀬谷区	100.0	74.8	9.6	38.0	27.2	25.2	22.0	3.2	0.7

1) 実数は従業地・通学地「不詳・外国」で横浜市(当該区)に常住している者を含む。

3 市内で従業する者のうち、市内常住者の割合は男性 66.0%、女性 80.6%

横浜市を従業地とする 15 歳以上就業者の男女別常住別の割合をみると、男女とも「市内に常住」がそれぞれ 66.0%、80.6%で、「市外に常住」（男性 34.0%、女性 19.4%）を上回っています。

【表 4-3、表 4-4】

表 4-3 横浜市を従業地とする 15 歳以上就業者の男女、年齢（5 歳階級）、常住地別割合  
(平成 22 年、27 年)

男女 常住地		総数	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上	(再掲) 65歳 以上	
平成 27 年	男	市内に常住	66.0	73.9	68.6	66.2	64.2	62.6	62.2	61.8	61.7	62.9	68.3	76.5	81.8	88.9	80.1
		自区	30.9	42.0	34.9	28.7	26.2	24.9	25.1	26.0	26.5	28.1	33.7	45.3	55.4	70.5	52.4
		他区	35.0	32.0	33.7	37.5	38.0	37.7	37.1	35.8	35.2	34.8	34.7	31.2	26.4	18.3	27.7
	市外に常住	34.0	26.1	31.4	33.8	35.8	37.4	37.8	38.2	38.3	37.1	31.7	23.5	18.2	11.1	19.9	
	県内	22.3	18.6	21.8	23.2	24.2	25.0	25.0	23.8	23.9	23.2	21.2	16.2	12.6	7.4	13.7	
	他県	11.7	7.4	9.6	10.7	11.6	12.4	12.8	14.4	14.4	13.9	10.5	7.3	5.6	3.7	6.2	
平成 27 年	女	市内に常住	80.6	75.6	68.4	68.4	71.6	76.7	81.4	83.6	84.6	85.5	87.8	90.3	92.1	95.1	91.6
		自区	47.1	40.5	31.5	28.6	33.4	40.7	47.6	50.3	51.2	52.6	57.7	63.9	70.2	81.5	68.6
		他区	33.5	35.1	36.9	39.8	38.2	36.0	33.8	33.2	33.4	32.9	30.1	26.4	21.9	13.6	23.0
	市外に常住	19.4	24.4	31.6	31.6	28.4	23.3	18.6	16.4	15.4	14.5	12.2	9.7	7.9	4.9	8.4	
	県内	14.5	18.2	23.4	23.1	20.8	17.4	14.2	12.4	11.6	10.9	9.3	7.4	6.0	3.4	6.3	
	他県	4.9	6.3	8.2	8.5	7.6	6.0	4.4	4.0	3.8	3.6	2.9	2.3	1.9	1.5	2.1	
平成 22 年	男	市内に常住	67.6	81.3	72.6	67.3	65.3	64.6	64.1	63.2	63.0	65.5	69.8	78.3	85.0	90.5	82.2
		自区	32.3	48.8	37.7	29.2	26.5	26.4	27.2	27.2	27.9	30.5	36.5	48.4	60.2	74.9	56.2
		他区	35.3	32.5	34.8	38.1	38.8	38.2	36.8	36.0	35.1	35.1	33.3	29.8	24.8	15.6	26.0
	市外に常住	32.4	18.7	27.4	32.7	34.7	35.4	35.9	36.8	37.0	34.5	30.2	21.7	15.0	9.5	17.8	
	県内	21.9	13.7	19.6	23.1	24.0	24.4	23.6	23.7	23.6	22.9	21.1	15.6	10.5	5.8	12.5	
	他県	10.5	5.0	7.8	9.6	10.7	11.0	12.3	13.1	13.4	11.5	9.1	6.2	4.5	3.6	5.3	
平成 22 年	女	市内に常住	81.5	81.4	71.1	68.7	72.5	78.6	83.3	85.5	86.0	87.2	89.3	91.6	93.5	95.9	92.9
		自区	48.0	47.0	32.9	28.5	33.5	43.1	50.3	52.7	52.9	55.3	60.2	67.2	74.3	85.0	72.3
		他区	33.5	34.3	38.2	40.1	39.0	35.6	32.9	32.8	33.1	32.0	29.1	24.4	19.2	10.9	20.6
	市外に常住	18.5	18.6	28.9	31.3	27.5	21.4	16.7	14.5	14.0	12.8	10.7	8.4	6.5	4.1	7.1	
	県内	13.9	14.2	21.9	23.3	20.5	16.0	12.6	11.0	10.6	9.7	8.3	6.3	4.9	2.8	5.3	
	他県	4.6	4.4	7.1	8.1	7.1	5.3	4.1	3.5	3.4	3.0	2.4	2.1	1.6	1.3	1.8	

表4-4 横浜市を従業地とする15歳以上就業者の男女、年齢（5歳階級）、常住地別人口

(平成22年、27年)

男女 常住地		総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳
平成 27 年	男	772,555	10,856	41,712	59,753	69,585	82,472	101,476
	市内に常住	475,439	7,764	26,347	35,794	40,931	47,958	59,040
	自区	222,936	4,408	13,406	15,517	16,691	19,095	23,826
	他区	252,503	3,356	12,941	20,277	24,240	28,863	35,214
	市外に常住	245,232	2,737	12,083	18,306	22,851	28,698	35,923
	県内	161,056	1,958	8,393	12,540	15,437	19,178	23,728
	他県	84,176	779	3,690	5,766	7,414	9,520	12,195
	不詳 <sup>1)</sup>	51,884	355	3,282	5,653	5,803	5,816	6,513
	女	624,074	11,238	41,016	52,417	53,875	60,826	81,973
	市内に常住	478,853	8,307	26,488	33,549	36,100	44,136	63,947
自区	279,775	4,451	12,210	14,039	16,828	23,407	37,410	
他区	199,078	3,856	14,278	19,510	19,272	20,729	26,537	
市外に常住	114,958	2,685	12,238	15,500	14,336	13,426	14,583	
県内	85,850	1,998	9,077	11,315	10,480	9,992	11,117	
他県	29,108	687	3,161	4,185	3,856	3,434	3,466	
不詳 <sup>1)</sup>	30,263	246	2,290	3,368	3,439	3,264	3,443	
平成 22 年	男	808,882	11,836	47,811	71,116	84,523	104,955	97,932
	市内に常住	511,653	9,194	32,666	44,539	51,764	63,666	58,935
	自区	244,254	5,518	16,990	19,337	21,025	26,013	25,058
	他区	267,399	3,676	15,676	25,202	30,739	37,653	33,877
	市外に常住	245,231	2,114	12,352	21,624	27,558	34,876	33,029
	県内	165,994	1,550	8,839	15,295	19,069	24,004	21,686
	他県	79,237	564	3,513	6,329	8,489	10,872	11,343
	不詳 <sup>2)</sup>	51,998	528	2,793	4,953	5,201	6,413	5,968
	女	614,417	11,819	47,085	60,184	58,893	69,947	74,017
	市内に常住	478,925	9,303	32,051	39,324	40,747	52,729	59,408
自区	281,836	5,376	14,842	16,349	18,837	28,867	35,918	
他区	197,089	3,927	17,209	22,975	21,910	23,862	23,490	
市外に常住	108,699	2,130	13,037	17,954	15,469	14,315	11,932	
県内	81,800	1,628	9,853	13,335	11,499	10,744	9,001	
他県	26,899	502	3,184	4,619	3,970	3,571	2,931	
不詳 <sup>2)</sup>	26,793	386	1,997	2,906	2,677	2,903	2,677	

1) 従業地「不詳・外国」で横浜市に常住している者。

2) 従業地「不詳」で横浜市に常住している者。

45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	(再掲) 65歳以上	男女 常住地	
94,471	81,075	67,239	63,819	54,081	27,216	18,800	100,097	男	平成 27 年
54,815	47,383	40,428	41,596	38,911	20,407	14,065	73,383	市内に常住	
23,043	20,366	18,050	20,495	23,054	13,823	11,162	48,039	自区	
31,772	27,017	22,378	21,101	15,857	6,584	2,903	25,344	他区	
33,820	29,470	23,839	19,274	11,940	4,530	1,761	18,231	市外に常住	
21,096	18,376	14,896	12,897	8,244	3,142	1,171	12,557	県内	
12,724	11,094	8,943	6,377	3,696	1,388	590	5,674	他県	
5,836	4,222	2,972	2,949	3,230	2,279	2,974	8,483	不詳	
82,983	71,608	56,040	45,555	35,886	18,064	12,593	66,543	女	
66,967	58,831	46,511	38,486	30,593	15,061	9,877	55,531	市内に常住	
40,351	35,602	28,606	25,273	21,644	11,486	8,468	41,598	自区	
26,616	23,229	17,905	13,213	8,949	3,575	1,409	13,933	他区	
13,176	10,703	7,876	5,351	3,274	1,297	513	5,084	市外に常住	
9,963	8,058	5,944	4,073	2,495	981	357	3,833	県内	
3,213	2,645	1,932	1,278	779	316	156	1,251	他県	
2,840	2,074	1,653	1,718	2,019	1,706	2,203	5,928	不詳	
84,198	70,663	75,395	77,879	45,358	21,894	15,322	82,574	男	平成 22 年
49,998	42,079	46,647	50,971	32,593	16,666	11,935	61,194	市内に常住	
21,516	18,625	21,702	26,621	20,170	11,806	9,873	41,849	自区	
28,482	23,454	24,945	24,350	12,423	4,860	2,062	19,345	他区	
29,119	24,762	24,519	22,045	9,051	2,935	1,247	13,233	市外に常住	
18,745	15,803	16,305	15,393	6,486	2,051	768	9,305	県内	
10,374	8,959	8,214	6,652	2,565	884	479	3,928	他県	
5,081	3,822	4,229	4,863	3,714	2,293	2,140	8,147	不詳	
70,735	60,216	56,913	52,783	28,695	13,126	10,004	51,825	女	
58,591	50,181	47,909	44,873	24,438	11,089	8,282	43,809	市内に常住	
36,091	30,852	30,349	30,267	17,932	8,813	7,343	34,088	自区	
22,500	19,329	17,560	14,606	6,506	2,276	939	9,721	他区	
9,946	8,144	7,002	5,403	2,240	772	355	3,367	市外に常住	
7,517	6,170	5,347	4,196	1,689	580	241	2,510	県内	
2,429	1,974	1,655	1,207	551	192	114	857	他県	
2,198	1,891	2,002	2,507	2,017	1,265	1,367	4,649	不詳	

## V 流出・流入人口（15歳以上通勤・通学者）

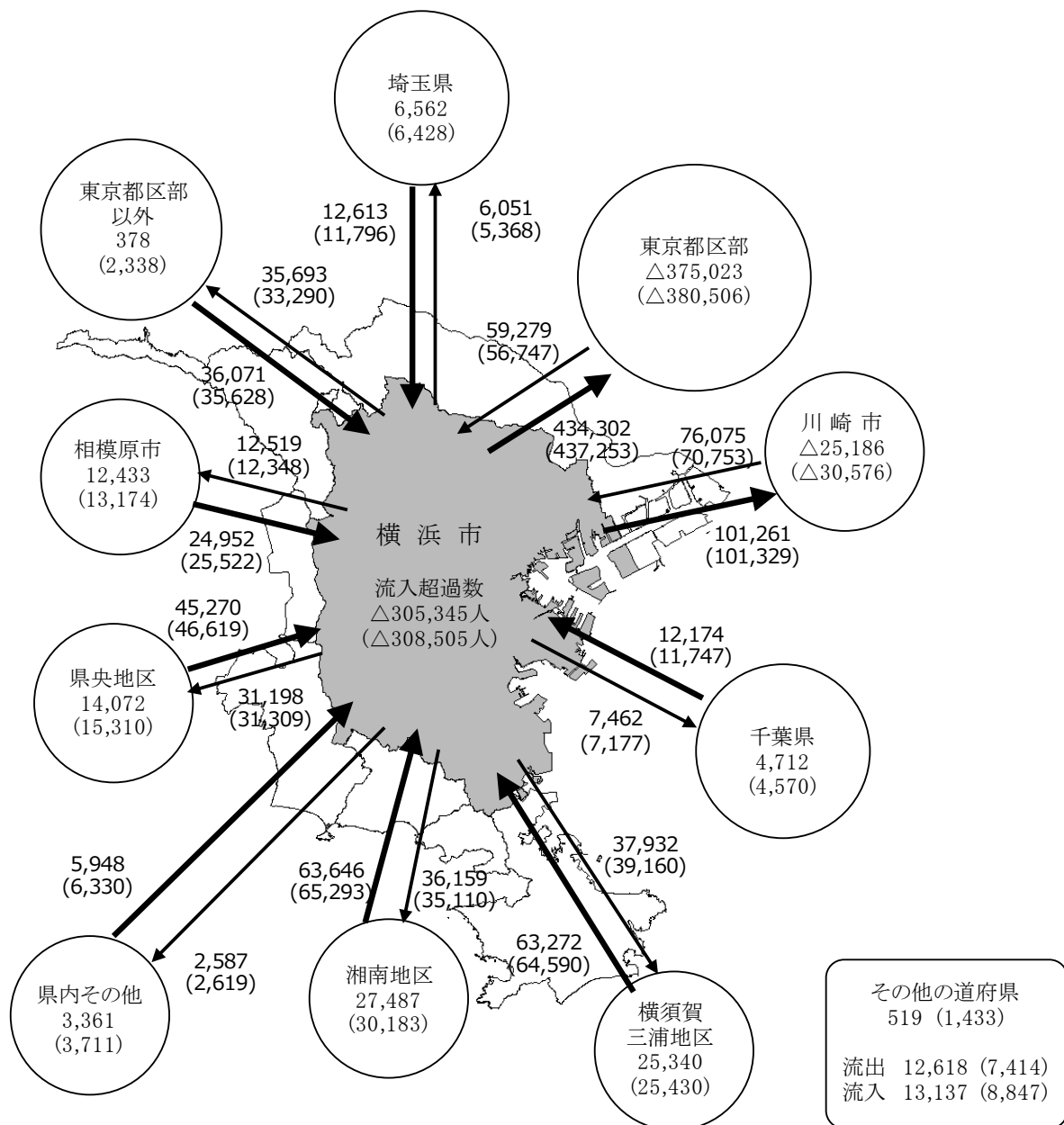
### 1 流出超過は前回比3,160人（1.0%）減少

15歳以上就業者・通学者の横浜市からの流出人口（市外へ通勤・通学する者）は717,782人、横浜市への流入人口（市外から通勤・通学する者）は412,437人で、前回比、流出人口は5,405人（0.8%）増加、流入人口は8,565人（2.1%）増加となっています。

また、流入人口と流出人口を比べると、流出人口（717,782人）が流入人口（412,437人）を305,345人上回っていますが、流出超過は前回と比べて3,160人（1.0%）減少となっています。

【図5-1、表5-1、表5-2、表5-3】

図5-1 流出・流入地域別15歳以上通勤・通学者数（平成27年）



注1) ( )内は平成22年の数値

注2) 県内の各地域の市町村は次のとおり

横須賀三浦地区 … 横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町

県央地区 … 厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村

湘南地区 … 平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町

注3) 従業・通学市区町村「不詳・外国」及び従業地・通学地「不詳」は含まない

表5-1 流出・流入地域別 15歳以上就業者・通学者—総数（平成22年、27年）

従業地・通学地 または 常住地	平成27年			平成22年			流出入地域別割合(%)			
	常住者の従業 地・通学地別 人口 (流出)	従業・通学者 の常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	常住者の従業 地・通学地別 人口 (流出)	従業・通学者 の常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	平成27年		平成22年	
							流出	流入	流出	流入
総数	1,860,732	1,555,387	△305,345	1,894,654	1,586,149	△308,505	-	-	-	-
市内	1,053,385	1,053,385	-	1,090,050	1,090,050	-	-	-	-	-
市外(流出先・流入元)	717,782	412,437	△305,345	712,377	403,872	△308,505	100.0	100.0	100.0	100.0
県内	221,656	279,163	57,507	221,875	279,107	57,232	30.9	67.7	31.1	69.1
川崎市	101,261	76,075	△25,186	101,329	70,753	△30,576	14.1	18.4	14.2	17.5
相模原市	12,519	24,952	12,433	12,348	25,522	13,174	1.7	6.0	1.7	6.3
横須賀三浦地区	37,932	63,272	25,340	39,160	64,590	25,430	5.3	15.3	5.5	16.0
横須賀市	18,385	35,879	17,494	19,095	37,036	17,941	2.6	8.7	2.7	9.2
鎌倉市	15,950	15,537	△413	16,450	15,096	△1,354	2.2	3.8	2.3	3.7
逗子市	2,642	5,977	3,335	2,632	6,038	3,406	0.4	1.4	0.4	1.5
県央地区	31,198	45,270	14,072	31,309	46,619	15,310	4.3	11.0	4.4	11.5
大和市	10,618	20,327	9,709	11,598	19,565	7,967	1.5	4.9	1.6	4.8
湘南地区	36,159	63,646	27,487	35,110	65,293	30,183	5.0	15.4	4.9	16.2
藤沢市	23,171	31,848	8,677	22,511	31,534	9,023	3.2	7.7	3.2	7.8
その他の地域	2,587	5,948	3,361	2,619	6,330	3,711	0.4	1.4	0.4	1.6
他県	496,126	133,274	△362,852	490,502	124,765	△365,737	69.1	32.3	68.9	30.9
東京都	469,995	95,350	△374,645	470,543	92,375	△378,168	65.5	23.1	66.1	22.9
特別区部	434,302	59,279	△375,023	437,253	56,747	△380,506	60.5	14.4	61.4	14.1
特別区部以外	35,693	36,071	378	33,290	35,628	2,338	5.0	8.7	4.7	8.8
町田市	12,987	18,283	5,296	12,950	18,872	5,922	1.8	4.4	1.8	4.7
埼玉県	6,051	12,613	6,562	5,368	11,796	6,428	0.8	3.1	0.8	2.9
千葉県	7,462	12,174	4,712	7,177	11,747	4,570	1.0	3.0	1.0	2.9
その他の道府県	12,618	13,137	519	7,414	8,847	1,433	1.8	3.2	1.0	2.2
不詳 <sup>1)</sup>	89,565	89,565	-	92,227	92,227	-	-	-	-	-

従業地・通学地 または 常住地	対前回比						地域別割合 ポイント差	
	増減数			増減率(%)			流出	流入
	常住者の従業 地・通学地別 人口 (流出)	従業・通学者 の常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	常住者の従業 地・通学地別 人口 (流出)	従業・通学者 の常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)		
総数	△33,922	△30,762	3,160	△1.8	△1.9	1.0	-	-
市内	△36,665	△36,665	-	△3.4	△3.4	-	-	-
市外(流出先・流入元)	5,405	8,565	3,160	0.8	2.1	1.0	-	-
県内	△219	56	275	△0.1	0.0	0.5	△0.2	△1.4
川崎市	△68	5,322	5,390	△0.1	7.5	17.6	△0.1	0.9
相模原市	171	△570	△741	1.4	△2.2	△5.6	-	△0.3
横須賀三浦地区	△1,228	△1,318	△90	△3.1	△2.0	△0.4	△0.2	△0.7
横須賀市	△710	△1,157	△447	△3.7	△3.1	△2.5	△0.1	△0.5
鎌倉市	△500	441	941	△3.0	2.9	69.5	△0.1	0.1
逗子市	10	△61	△71	0.4	△1.0	△2.1	-	△0.1
県央地区	△111	△1,349	△1,238	△0.4	△2.9	△8.1	△0.1	△0.5
大和市	△980	762	1,742	△8.4	3.9	21.9	△0.1	0.1
湘南地区	1,049	△1,647	△2,696	3.0	△2.5	△8.9	0.1	△0.8
藤沢市	660	314	△346	2.9	1.0	△3.8	-	△0.1
その他の地域	△32	△382	△350	△1.2	△6.0	△9.4	-	△0.2
他県	5,624	8,509	2,885	1.1	6.8	0.8	0.2	1.4
東京都	△548	2,975	3,523	△0.1	3.2	0.9	△0.6	0.2
特別区部	△2,951	2,532	5,483	△0.7	4.5	1.4	△0.9	0.3
特別区部以外	2,403	443	△1,960	7.2	1.2	△83.8	0.3	△0.1
町田市	37	△589	△626	0.3	△3.1	△10.6	-	△0.3
埼玉県	683	817	134	12.7	6.9	2.1	-	0.2
千葉県	285	427	142	4.0	3.6	3.1	-	0.1
その他の道府県	5,204	4,290	△914	70.2	48.5	△63.8	0.8	1.0
不詳 <sup>1)</sup>	△2,662	△2,662	-	△2.9	△2.9	-	-	-

1) 「従業・通学者の常住地別人口」においては、従業地・通学地「不詳・外国」（平成22年は従業地・通学地「不詳」）で横浜市に常住している者。

表5-2 流出・流入地域別 15歳以上就業者・通学者一就業者（平成22年、27年）

従業地 または 常住地	平成27年			平成22年			流出入地域別割合(%)			
	常住者の 従業地別 人口 (流出)	従業者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	常住者の 従業地別 人口 (流出)	従業者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	平成27年		平成22年	
							流出	流入	流出	流入
<b>就業者</b>	<b>1,673,913</b>	<b>1,396,629</b>	<b>△277,284</b>	<b>1,703,374</b>	<b>1,423,299</b>	<b>△280,075</b>	-	-	-	-
<b>市内</b>	<b>954,292</b>	<b>954,292</b>	<b>-</b>	<b>990,578</b>	<b>990,578</b>	<b>-</b>	-	-	-	-
<b>市外(流出先・流入元)</b>	<b>637,474</b>	<b>360,190</b>	<b>△277,284</b>	<b>634,005</b>	<b>353,930</b>	<b>△280,075</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>
<b>県内</b>	<b>193,753</b>	<b>246,906</b>	<b>53,153</b>	<b>194,717</b>	<b>247,794</b>	<b>53,077</b>	<b>30.4</b>	<b>68.5</b>	<b>30.7</b>	<b>70.0</b>
川崎市	95,184	66,806	△28,378	95,575	62,344	△33,231	14.9	18.5	15.1	17.6
相模原市	9,160	22,376	13,216	8,765	23,075	14,310	1.4	6.2	1.4	6.5
横須賀三浦地区	31,069	56,394	25,325	32,740	57,813	25,073	4.9	15.7	5.2	16.3
横須賀市	15,489	32,318	16,829	16,629	33,518	16,889	2.4	9.0	2.6	9.5
鎌倉市	12,922	13,736	814	13,388	13,459	71	2.0	3.8	2.1	3.8
逗子市	1,753	5,230	3,477	1,777	5,297	3,520	0.3	1.5	0.3	1.5
県央地区	28,220	40,390	12,170	28,557	41,683	13,126	4.4	11.2	4.5	11.8
大和市	9,439	18,199	8,760	10,513	17,667	7,154	1.5	5.1	1.7	5.0
湘南地区	27,810	56,180	28,370	26,831	57,769	30,938	4.4	15.6	4.2	16.3
藤沢市	18,027	28,376	10,349	17,238	28,131	10,893	2.8	7.9	2.7	7.9
その他の地域	2,310	4,760	2,450	2,249	5,110	2,861	0.4	1.3	0.4	1.4
<b>他県</b>	<b>443,721</b>	<b>113,284</b>	<b>△330,437</b>	<b>439,288</b>	<b>106,136</b>	<b>△333,152</b>	<b>69.6</b>	<b>31.5</b>	<b>69.3</b>	<b>30.0</b>
東京都	420,754	82,854	△337,900	421,740	79,658	△342,082	66.0	23.0	66.5	22.5
特別区部	396,327	50,536	△345,791	399,913	47,721	△352,192	62.2	14.0	63.1	13.5
特別区部以外	24,427	32,318	7,891	21,827	31,937	10,110	3.8	9.0	3.4	9.0
町田市	9,227	16,725	7,498	8,994	17,384	8,390	1.4	4.6	1.4	4.9
埼玉県	4,923	10,537	5,614	4,479	9,780	5,301	0.8	2.9	0.7	2.8
千葉県	6,385	10,270	3,885	6,097	9,960	3,863	1.0	2.9	1.0	2.8
その他の道府県	11,659	9,623	△2,036	6,972	6,738	△234	1.8	2.7	1.1	1.9
不詳 <sup>1)</sup>	82,147	82,147	-	78,791	78,791	-	-	-	-	-

従業地 または 常住地	対前回比								
	増減数			増減率(%)			地域別割合 ポイント差		
	常住者の 従業地別 人口 (流出)	従業者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	常住者の 従業地別 人口 (流出)	従業者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	流出	流入	
<b>就業者</b>	<b>△29,461</b>	<b>△26,670</b>	<b>2,791</b>	<b>△1.7</b>	<b>△1.9</b>	<b>1.0</b>	-	-	
<b>市内</b>	<b>△36,286</b>	<b>△36,286</b>	<b>-</b>	<b>△3.7</b>	<b>△3.7</b>	<b>-</b>	-	-	
<b>市外(流出先・流入元)</b>	<b>3,469</b>	<b>6,260</b>	<b>2,791</b>	<b>0.5</b>	<b>1.8</b>	<b>1.0</b>	-	-	
<b>県内</b>	<b>△964</b>	<b>△888</b>	<b>76</b>	<b>△0.5</b>	<b>△0.4</b>	<b>0.1</b>	<b>△0.3</b>	<b>△1.5</b>	
川崎市	△391	4,462	4,853	△0.4	7.2	14.6	△0.2	0.9	
相模原市	395	△699	△1,094	4.5	△3.0	△7.6	-	△0.3	
横須賀三浦地区	△1,671	△1,419	252	△5.1	△2.5	1.0	△0.3	△0.6	
横須賀市	△1,140	△1,200	△60	△6.9	△3.6	△0.4	△0.2	△0.5	
鎌倉市	△466	277	743	△3.5	2.1	1046.5	△0.1	-	
逗子市	△24	△67	△43	△1.4	△1.3	△1.2	-	-	
県央地区	△337	△1,293	△956	△1.2	△3.1	△7.3	△0.1	△0.6	
大和市	△1,074	532	1,606	△10.2	3.0	22.4	△0.2	0.1	
湘南地区	979	△1,589	△2,568	3.6	△2.8	△8.3	0.2	△0.7	
藤沢市	789	245	△544	4.6	0.9	△5.0	0.1	-	
その他の地域	61	△350	△411	2.7	△6.8	△14.4	-	△0.1	
<b>他県</b>	<b>4,433</b>	<b>7,148</b>	<b>2,715</b>	<b>1.0</b>	<b>6.7</b>	<b>0.8</b>	<b>0.3</b>	<b>1.5</b>	
東京都	△986	3,196	4,182	△0.2	4.0	1.2	△0.5	0.5	
特別区部	△3,586	2,815	6,401	△0.9	5.9	1.8	△0.9	0.5	
特別区部以外	2,600	381	△2,219	11.9	1.2	△21.9	0.4	-	
町田市	233	△659	△892	2.6	△3.8	△10.6	-	△0.3	
埼玉県	444	757	313	9.9	7.7	5.9	0.1	0.1	
千葉県	288	310	22	4.7	3.1	0.6	-	0.1	
その他の道府県	4,687	2,885	△1,802	67.2	42.8	△770.1	0.7	0.8	
不詳 <sup>1)</sup>	3,356	3,356	-	4.3	4.3	-	-	-	

1) 「従業者の常住地別人口」においては、従業地「不詳・外国」（平成22年は従業地「不詳」）で横浜市に常住している者。



表5-3 流出・流入地域別 15歳以上就業者・通学者—通学者（平成22年、27年）

通学地 または 常住地	平成27年			平成22年			流出入地域別割合(%)			
	常住者の 通学地別 人口 (流出)	通学者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	常住者の 通学地別 人口 (流出)	通学者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	平成27年		平成22年	
							流出	流入	流出	流入
<b>通学者</b>	<b>186,819</b>	<b>158,758</b>	<b>△28,061</b>	<b>191,280</b>	<b>162,850</b>	<b>△28,430</b>	-	-	-	-
<b>市内</b>	<b>99,093</b>	<b>99,093</b>	<b>-</b>	<b>99,472</b>	<b>99,472</b>	<b>-</b>	-	-	-	-
<b>市外(流出先・流入元)</b>	<b>80,308</b>	<b>52,247</b>	<b>△28,061</b>	<b>78,372</b>	<b>49,942</b>	<b>△28,430</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>
<b>県内</b>	<b>27,903</b>	<b>32,257</b>	<b>4,354</b>	<b>27,158</b>	<b>31,313</b>	<b>4,155</b>	<b>34.7</b>	<b>61.7</b>	<b>34.7</b>	<b>62.7</b>
川崎市	6,077	9,269	3,192	5,754	8,409	2,655	7.6	17.7	7.3	16.8
相模原市	3,359	2,576	△783	3,583	2,447	△1,136	4.2	4.9	4.6	4.9
横須賀三浦地区	6,863	6,878	15	6,420	6,777	357	8.5	13.2	8.2	13.6
横須賀市	2,896	3,561	665	2,466	3,518	1,052	3.6	6.8	3.1	7.0
鎌倉市	3,028	1,801	△1,227	3,062	1,637	△1,425	3.8	3.4	3.9	3.3
逗子市	889	747	△142	855	741	△114	1.1	1.4	1.1	1.5
県央地区	2,978	4,880	1,902	2,752	4,936	2,184	3.7	9.3	3.5	9.9
大和市	1,179	2,128	949	1,085	1,898	813	1.5	4.1	1.4	3.8
湘南地区	8,349	7,466	△883	8,279	7,524	△755	10.4	14.3	10.6	15.1
藤沢市	5,144	3,472	△1,672	5,273	3,403	△1,870	6.4	6.6	6.7	6.8
その他の地域	277	1,188	911	370	1,220	850	0.3	2.3	0.5	2.4
<b>他県</b>	<b>52,405</b>	<b>19,990</b>	<b>△32,415</b>	<b>51,214</b>	<b>18,629</b>	<b>△32,585</b>	<b>65.3</b>	<b>38.3</b>	<b>65.3</b>	<b>37.3</b>
東京都	49,241	12,496	△36,745	48,803	12,717	△36,086	61.3	23.9	62.3	25.5
特別区部	37,975	8,743	△29,232	37,340	9,026	△28,314	47.3	16.7	47.6	18.1
特別区部以外	11,266	3,753	△7,513	11,463	3,691	△7,772	14.0	7.2	14.6	7.4
町田市	3,760	1,558	△2,202	3,956	1,488	△2,468	4.7	3.0	5.0	3.0
埼玉県	1,128	2,076	948	889	2,016	1,127	1.4	4.0	1.1	4.0
千葉県	1,077	1,904	827	1,080	1,787	707	1.3	3.6	1.4	3.6
その他の道府県	959	3,514	2,555	442	2,109	1,667	1.2	6.7	0.6	4.2
不詳 <sup>1)</sup>	7,418	7,418	-	13,436	13,436	-	-	-	-	-

通学地 または 常住地	対前回比								
	増減数			増減率(%)			地域別割合 ポイント差		
	常住者の 通学地別 人口 (流出)	通学者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	常住者の 通学地別 人口 (流出)	通学者の 常住地別 人口 (流入)	流入超過数 (流入-流出)	流出	流入	
<b>通学者</b>	<b>△4,461</b>	<b>△4,092</b>	<b>369</b>	<b>△2.3</b>	<b>△2.5</b>	<b>1.3</b>	-	-	
<b>市内</b>	<b>△379</b>	<b>△379</b>	<b>-</b>	<b>△0.4</b>	<b>△0.4</b>	<b>-</b>	-	-	
<b>市外(流出先・流入元)</b>	<b>1,936</b>	<b>2,305</b>	<b>369</b>	<b>2.5</b>	<b>4.6</b>	<b>1.3</b>	-	-	
<b>県内</b>	<b>745</b>	<b>944</b>	<b>199</b>	<b>2.7</b>	<b>3.0</b>	<b>4.8</b>	-	<b>△1.0</b>	
川崎市	323	860	537	5.6	10.2	20.2	0.3	0.9	
相模原市	△224	129	353	△6.3	5.3	31.1	△0.4	-	
横須賀三浦地区	443	101	△342	6.9	1.5	△95.8	0.3	△0.4	
横須賀市	430	43	△387	17.4	1.2	△36.8	0.5	△0.2	
鎌倉市	△34	164	198	△1.1	10.0	13.9	△0.1	0.1	
逗子市	34	6	△28	4.0	0.8	△24.6	-	△0.1	
県央地区	226	△56	△282	8.2	△1.1	△12.9	0.2	△0.6	
大和市	94	230	136	8.7	12.1	16.7	0.1	0.3	
湘南地区	70	△58	△128	0.8	△0.8	△17.0	△0.2	△0.8	
藤沢市	△129	69	198	△2.4	2.0	10.6	△0.3	△0.2	
その他の地域	△93	△32	61	△25.1	△2.6	7.2	△0.2	△0.1	
<b>他県</b>	<b>1,191</b>	<b>1,361</b>	<b>170</b>	<b>2.3</b>	<b>7.3</b>	<b>0.5</b>	-	<b>1.0</b>	
東京都	438	△221	△659	0.9	△1.7	△1.8	△1.0	△1.6	
特別区部	635	△283	△918	1.7	△3.1	△3.2	△0.3	△1.4	
特別区部以外	△197	62	259	△1.7	1.7	3.3	△0.6	△0.2	
町田市	△196	70	266	△5.0	4.7	10.8	△0.3	-	
埼玉県	239	60	△179	26.9	3.0	△15.9	0.3	-	
千葉県	△3	117	120	△0.3	6.5	17.0	△0.1	-	
その他の道府県	517	1,405	888	117.0	66.6	53.3	0.6	2.5	
不詳 <sup>1)</sup>	△6,018	△6,018	-	△44.8	△44.8	-	-	-	

1) 「通学者の常住地別人口」においては、通学地「不詳」で横浜市に常住している者。

## 2 市外へ通勤・通学する者のうち、東京都への通勤・通学者が65.5%

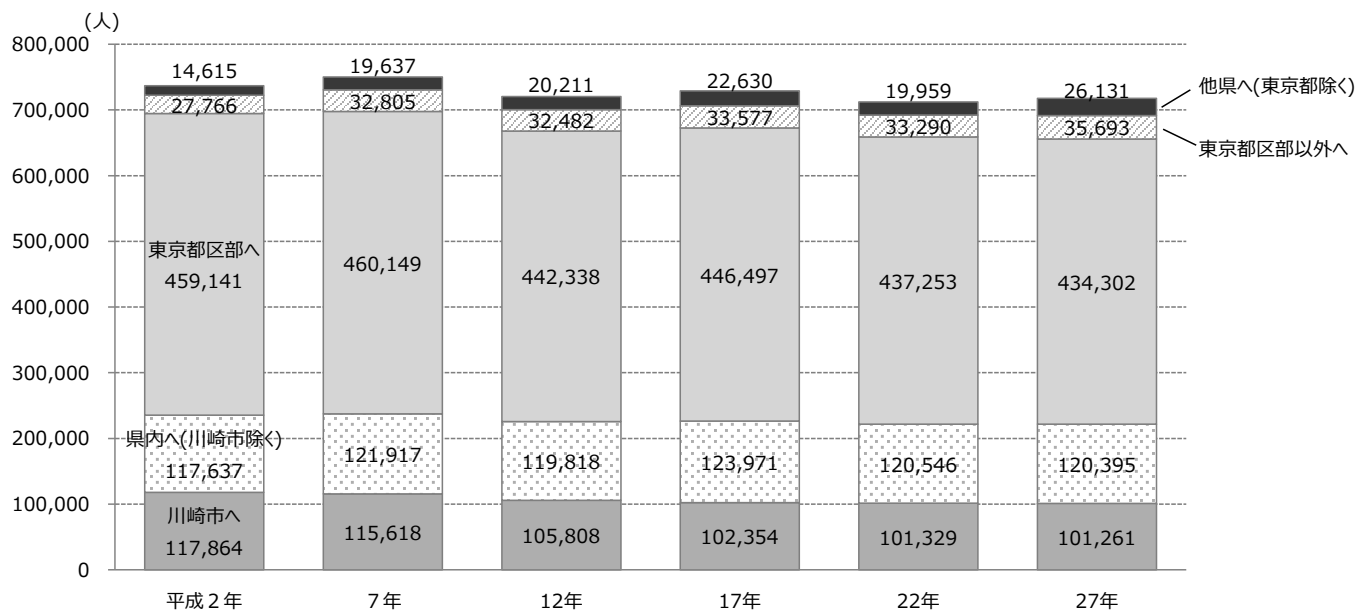
横浜市に常住する15歳以上通勤・通学者について、横浜市からの流出人口（717,782人）を地域別にみると、他県への流出が496,126人（流出人口の69.1%）、県内の他市町村への流出が221,656人（同30.9%）となっており、前回比、他県への流出人口が1.1%増加となっています。

流出人口を地域別にみると、東京都が469,995人（流出人口の65.5%）と最も多く、うち東京都区部が434,302人（同60.5%）、東京都区部以外が35,693人（同5.0%）となっており、前回比、東京都区部が2,951人（0.7%）減少の一方、東京都区部以外が2,403人（7.2%）増加となっています。このうち東京都区部へ通勤する者は396,327人で、15歳以上就業者（従業地不詳を除く1,591,766人）に占める割合は24.9%となっており、市内に常住する就業者のおよそ4人に1人が東京都区部へ通勤しています。

また、県内の他市町村への流出人口を地域別にみると、川崎市が101,261人（流出人口の14.1%）と最も多く、次いで横須賀三浦地区が37,932人（同5.3%）、湘南地区が36,159人（同5.0%）となっています。前回比、川崎市が68人減少、横須賀三浦地区が1,228人減少の一方、湘南地区が1,049人増加となっています。

【表5-1、表5-2、図5-2】

図5-2 横浜市からの流出人口（15歳以上通勤・通学者）の推移（平成2年～27年）



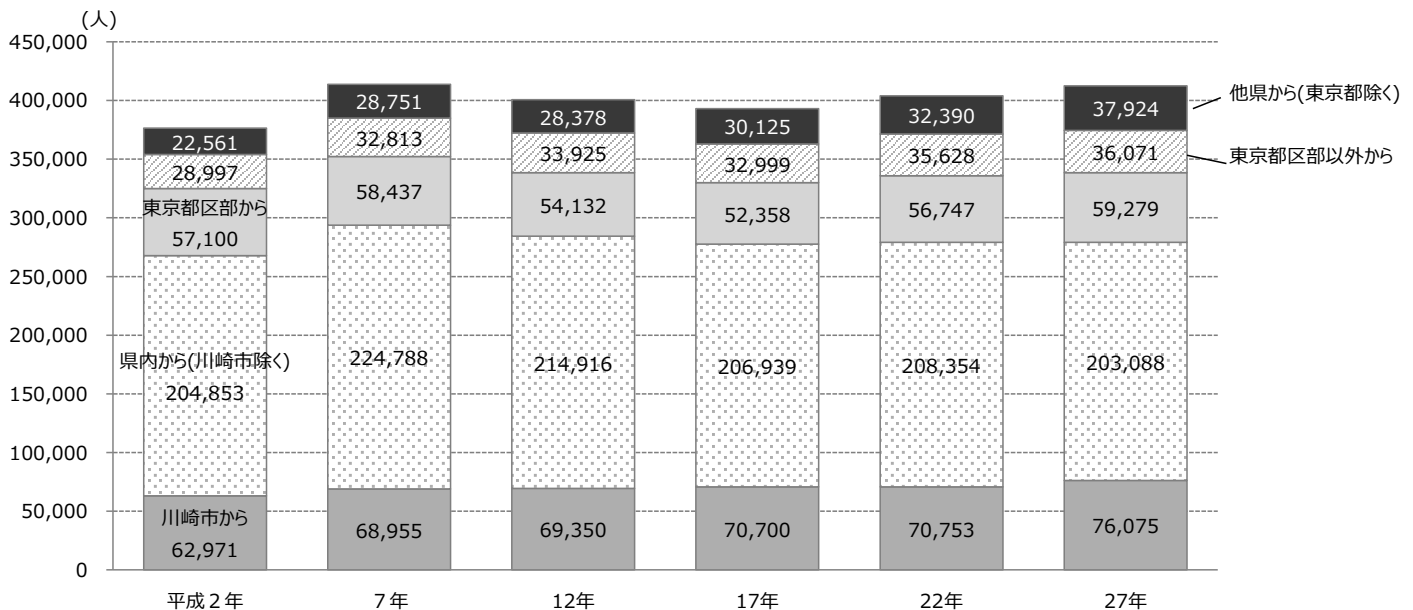
### 3 市外から通勤・通学する者のうち、県内の他市町村からの通勤・通学者が67.7%

横浜市を従業地・通学地とする15歳以上通勤・通学者について、横浜市への流入人口(412,437人)を地域別にみると、他県からの流入が133,274人(流入人口の32.3%)、県内の他市町村からの流入が279,163人(同67.7%)となっており、前回比、他県からの流入人口が6.8%増加となっています。

流入人口を地域別にみると、東京都が95,350人(流入人口の23.1%)と最も多く、うち東京都区部が59,279人(同14.4%)、東京都区部以外が36,071人(同8.7%)となっており、前回比、東京都区部が2,532人(4.5%)増加、東京都区部以外が443人(1.2%)増加となっています。

また、県内の他市町村からの流入人口を地域別にみると、川崎市が76,075人(流入人口の18.4%)と最も多く、次いで湘南地区が63,646人(同15.4%)、横須賀三浦地区が63,272人(同15.3%)となっています。前回比、川崎市が5,322人増加の一方、湘南地区が1,647人減少、県央地区が1,349人減少、横須賀三浦地区が1,318人減少となっています。 【表5-1、表5-2、図5-3】

図5-3 横浜市への流入人口(15歳以上通勤・通学者)の推移(平成2~27年)



#### 4 全ての区で東京都区部への流出が多く、県内からの流入が多い

横浜市に常住する15歳以上通勤・通学者について、横浜市からの流出口（717,782人）を行政区別にみると、川崎市への流出は鶴見区が20,639人（当該区の流出口の29.7%）と最も多く、次いで港北区が11,906人（同14.5%）、青葉区が11,356人（同12.7%）となっています。川崎市を除く県内の他市町村への流出は戸塚区が13,993人（当該区の流出口の26.5%）、金沢区が11,675人（同33.2%）、泉区が10,071人（同37.8%）、東京都区部への流出は青葉区が60,740人（同67.7%）、港北区が59,019人（同72.1%）、鶴見区が41,793人（同60.1%）となっています。

また、横浜市を従業地・通学地とする15歳以上通勤・通学者について、横浜市への流入人口（412,437人）を行政区別にみると、川崎市からの流入は港北区が12,238人（当該区の流入人口の25.0%）と最も多く、次いで鶴見区が12,187人（同37.6%）、青葉区が9,066人（同33.4%）となっています。川崎市を除く県内の他市町村からの流入は、西区が27,446人（当該区の流入人口の50.6%）と最も多く、次いで中区が26,436人（同55.4%）、金沢区が18,877人（同78.2%）となっています。東京都及び他県からの流入は港北区が最も多く、東京都区部からの流入が10,364人（同21.2%）、東京都区部以外からの流入は6,153人（同12.6%）、他県からの流入は6,648人（同13.6%）となっています。

【図5-4、図5-5、表5-4、表5-5、表5-6、表5-7】

図5-4 流出地域別15歳以上通勤・通学者の割合—行政区（平成27年）

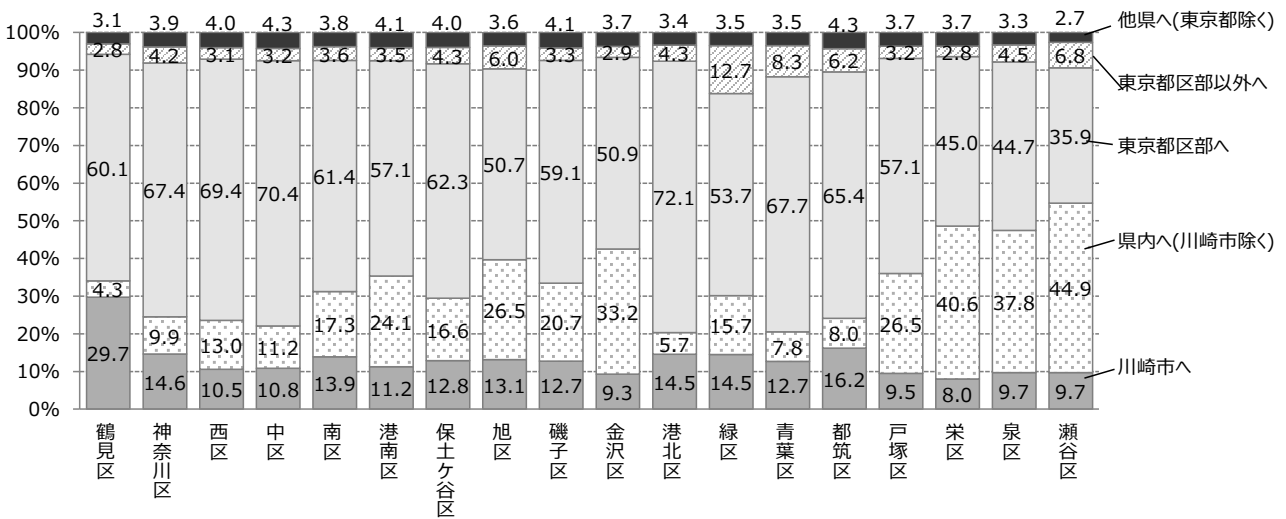


図5-5 流入地域別15歳以上通勤・通学者の割合—行政区（平成27年）

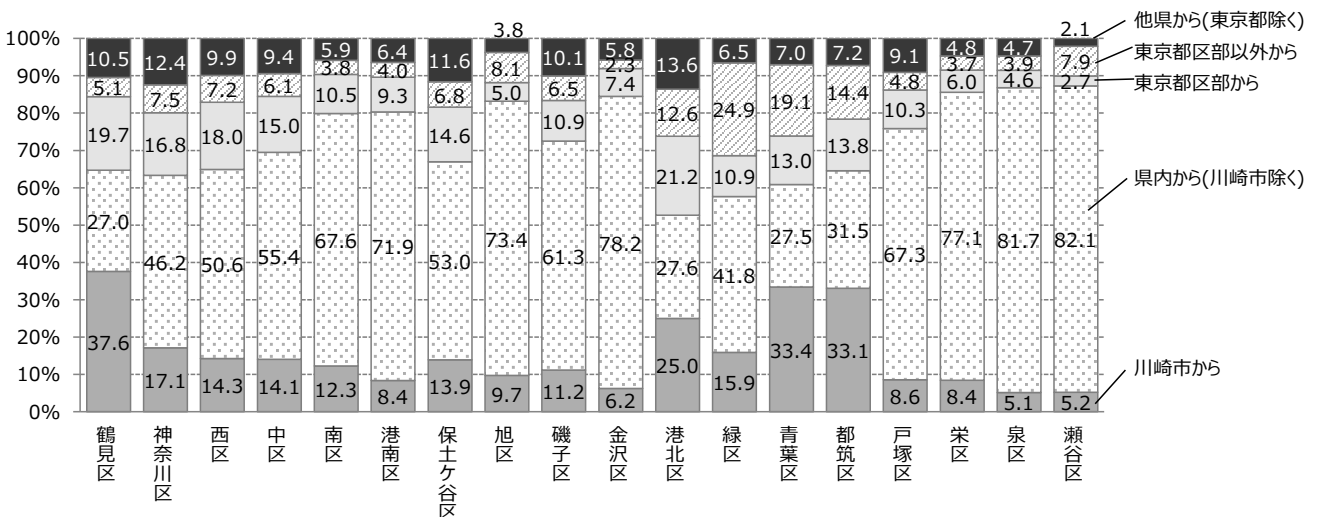


表5-4 流出地域別15歳以上通勤・通学者—行政区（平成22年、27年）

行政区	15歳以上通勤・通学者 市外への流出人口											
	平成27年						平成22年					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
<b>横浜市</b>	<b>717,782</b>	<b>101,261</b>	<b>120,395</b>	<b>434,302</b>	<b>35,693</b>	<b>26,131</b>	<b>712,377</b>	<b>101,329</b>	<b>120,546</b>	<b>437,253</b>	<b>33,290</b>	<b>19,959</b>
鶴見区	69,488	20,639	2,993	41,793	1,936	2,127	65,905	20,303	2,973	39,224	1,758	1,647
神奈川区	45,195	6,603	4,470	30,459	1,915	1,748	44,794	6,649	4,397	30,570	1,781	1,397
西区	19,191	2,023	2,494	13,309	592	773	18,760	1,935	2,366	13,277	551	631
中区	20,809	2,255	2,341	14,648	674	891	20,057	2,150	2,209	14,351	633	714
南区	26,767	3,716	4,636	16,426	976	1,013	27,480	3,885	4,724	17,178	873	820
港南区	33,474	3,765	8,057	19,127	1,166	1,359	35,436	4,049	8,337	20,826	1,190	1,034
保土ヶ谷区	33,604	4,315	5,569	20,932	1,455	1,333	33,463	4,361	5,511	21,185	1,302	1,104
旭区	37,311	4,895	9,901	18,915	2,254	1,346	39,038	5,181	10,248	20,155	2,391	1,063
磯子区	24,359	3,093	5,050	14,396	813	1,007	23,356	2,852	4,867	14,104	787	746
金沢区	35,190	3,269	11,675	17,906	1,024	1,316	36,929	3,383	12,278	19,326	972	970
港北区	81,886	11,906	4,706	59,019	3,492	2,763	81,284	11,759	4,571	59,532	3,184	2,238
緑区	34,238	4,957	5,360	18,370	4,342	1,209	32,978	5,082	5,190	17,917	3,983	806
青葉区	89,668	11,356	7,017	60,740	7,398	3,157	86,615	11,146	6,557	59,874	6,838	2,200
都筑区	43,665	7,053	3,476	28,556	2,694	1,886	39,970	6,787	3,084	26,485	2,411	1,203
戸塚区	52,736	5,005	13,993	30,093	1,713	1,932	53,435	5,118	13,781	31,376	1,614	1,546
栄区	22,571	1,801	9,157	10,159	622	832	24,327	1,842	9,577	11,609	602	697
泉区	26,652	2,575	10,071	11,917	1,209	880	26,894	2,637	10,140	12,324	1,107	686
瀬谷区	20,978	2,035	9,429	7,537	1,418	559	21,656	2,210	9,736	7,940	1,313	457
行政区	対前回比											
	増減数						増減率(%)					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
<b>横浜市</b>	<b>5,405</b>	<b>△68</b>	<b>△151</b>	<b>△2,951</b>	<b>2,403</b>	<b>6,172</b>	<b>0.8</b>	<b>△0.1</b>	<b>△0.1</b>	<b>△0.7</b>	<b>7.2</b>	<b>30.9</b>
鶴見区	3,583	336	20	2,569	178	480	5.4	1.7	0.7	6.5	10.1	29.1
神奈川区	401	△46	73	△111	134	351	0.9	△0.7	1.7	△0.4	7.5	25.1
西区	431	88	128	32	41	142	2.3	4.5	5.4	0.2	7.4	22.5
中区	752	105	132	297	41	177	3.7	4.9	6.0	2.1	6.5	24.8
南区	△713	△169	△88	△752	103	193	△2.6	△4.4	△1.9	△4.4	11.8	23.5
港南区	△1,962	△284	△280	△1,699	△24	325	△5.5	△7.0	△3.4	△8.2	△2.0	31.4
保土ヶ谷区	141	△46	58	△253	153	229	0.4	△1.1	1.1	△1.2	11.8	20.7
旭区	△1,727	△286	△347	△1,240	△137	283	△4.4	△5.5	△3.4	△6.2	△5.7	26.6
磯子区	1,003	241	183	292	26	261	4.3	8.5	3.8	2.1	3.3	35.0
金沢区	△1,739	△114	△603	△1,420	52	346	△4.7	△3.4	△4.9	△7.3	5.3	35.7
港北区	602	147	135	△513	308	525	0.7	1.3	3.0	△0.9	9.7	23.5
緑区	1,260	△125	170	453	359	403	3.8	△2.5	3.3	2.5	9.0	50.0
青葉区	3,053	210	460	866	560	957	3.5	1.9	7.0	1.4	8.2	43.5
都筑区	3,695	266	392	2,071	283	683	9.2	3.9	12.7	7.8	11.7	56.8
戸塚区	△699	△113	212	△1,283	99	386	△1.3	△2.2	1.5	△4.1	6.1	25.0
栄区	△1,756	△41	△420	△1,450	20	135	△7.2	△2.2	△4.4	△12.5	3.3	19.4
泉区	△242	△62	△69	△407	102	194	△0.9	△2.4	△0.7	△3.3	9.2	28.3
瀬谷区	△678	△175	△307	△403	105	102	△3.1	△7.9	△3.2	△5.1	8.0	22.3

表5-5 流入地域別15歳以上通勤・通学者—行政区（平成22年、27年）

行政区	15歳以上通勤・通学者 市外からの流入人口											
	平成27年						平成22年					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)
<b>横浜市</b>	<b>412,437</b>	<b>76,075</b>	<b>203,088</b>	<b>59,279</b>	<b>36,071</b>	<b>37,924</b>	<b>403,872</b>	<b>70,753</b>	<b>208,354</b>	<b>56,747</b>	<b>35,628</b>	<b>32,390</b>
鶴見区	32,393	12,187	8,760	6,385	1,668	3,393	33,345	11,999	9,752	6,455	1,764	3,375
神奈川区	37,362	6,405	17,253	6,264	2,795	4,645	35,968	5,794	17,636	5,649	2,857	4,032
西区	54,241	7,741	27,446	9,784	3,905	5,365	48,189	5,977	26,557	7,934	3,314	4,407
中区	47,712	6,704	26,436	7,147	2,930	4,495	48,241	6,192	27,959	6,766	3,011	4,313
南区	6,233	766	4,215	652	235	365	6,507	682	4,627	612	271	315
港南区	9,402	789	6,761	871	376	605	9,325	708	6,932	823	383	479
保土ヶ谷区	13,777	1,921	7,306	2,012	933	1,605	12,440	1,416	7,134	1,869	838	1,183
旭区	10,310	1,004	7,571	514	830	391	10,571	952	7,738	576	893	412
磯子区	10,306	1,154	6,315	1,125	673	1,039	9,667	1,077	6,220	1,159	400	811
金沢区	24,126	1,506	18,877	1,789	558	1,396	23,470	1,466	18,953	1,672	486	893
港北区	48,899	12,238	13,496	10,364	6,153	6,648	48,835	12,170	14,141	10,657	6,244	5,623
緑区	14,393	2,286	6,012	1,572	3,582	941	15,035	2,289	6,496	1,790	3,672	788
青葉区	27,124	9,066	7,448	3,515	5,186	1,909	27,131	8,679	7,712	3,704	5,485	1,551
都筑区	25,860	8,559	8,137	3,573	3,719	1,872	24,676	8,078	8,074	3,401	3,640	1,483
戸塚区	25,550	2,198	17,186	2,628	1,221	2,317	25,190	1,835	17,813	2,525	1,181	1,836
栄区	8,330	702	6,423	500	309	396	8,170	586	6,675	439	202	268
泉区	7,477	384	6,106	345	288	354	7,777	385	6,322	409	274	387
瀬谷区	8,942	465	7,340	239	710	188	9,335	468	7,613	307	713	234
行政区	対前回比											
	増減数						増減率(%)					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)
<b>横浜市</b>	<b>8,565</b>	<b>5,322</b>	<b>△5,266</b>	<b>2,532</b>	<b>443</b>	<b>5,534</b>	<b>2.1</b>	<b>7.5</b>	<b>△2.5</b>	<b>4.5</b>	<b>1.2</b>	<b>17.1</b>
鶴見区	△952	188	△992	△70	△96	18	△2.9	1.6	△10.2	△1.1	△5.4	0.5
神奈川区	1,394	611	△383	615	△62	613	3.9	10.5	△2.2	10.9	△2.2	15.2
西区	6,052	1,764	889	1,850	591	958	12.6	29.5	3.3	23.3	17.8	21.7
中区	△529	512	△1,523	381	△81	182	△1.1	8.3	△5.4	5.6	△2.7	4.2
南区	△274	84	△412	40	△36	50	△4.2	12.3	△8.9	6.5	△13.3	15.9
港南区	77	81	△171	48	△7	126	0.8	11.4	△2.5	5.8	△1.8	26.3
保土ヶ谷区	1,337	505	172	143	95	422	10.7	35.7	2.4	7.7	11.3	35.7
旭区	△261	52	△167	△62	△63	△21	△2.5	5.5	△2.2	△10.8	△7.1	△5.1
磯子区	639	77	95	△34	273	228	6.6	7.1	1.5	△2.9	68.3	28.1
金沢区	656	40	△76	117	72	503	2.8	2.7	△0.4	7.0	14.8	56.3
港北区	64	68	△645	△293	△91	1,025	0.1	0.6	△4.6	△2.7	△1.5	18.2
緑区	△642	△3	△484	△218	△90	153	△4.3	△0.1	△7.5	△12.2	△2.5	19.4
青葉区	△7	387	△264	△189	△299	358	△0.0	4.5	△3.4	△5.1	△5.5	23.1
都筑区	1,184	481	63	172	79	389	4.8	6.0	0.8	5.1	2.2	26.2
戸塚区	360	363	△627	103	40	481	1.4	19.8	△3.5	4.1	3.4	26.2
栄区	160	116	△252	61	107	128	2.0	19.8	△3.8	13.9	53.0	47.8
泉区	△300	△1	△216	△64	14	△33	△3.9	△0.3	△3.4	△15.6	5.1	△8.5
瀬谷区	△393	△3	△273	△68	△3	△46	△4.2	△0.6	△3.6	△22.1	△0.4	△19.7

表5-6 流出地域別15歳以上通勤者—行政区（平成22年、27年）

行政区	15歳以上通勤者 市外への流出人口											
	平成27年						平成22年					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
<b>横浜市</b>	<b>637,474</b>	<b>95,184</b>	<b>98,569</b>	<b>396,327</b>	<b>24,427</b>	<b>22,967</b>	<b>634,005</b>	<b>95,575</b>	<b>99,142</b>	<b>399,913</b>	<b>21,827</b>	<b>17,548</b>
鶴見区	64,680	19,848	2,415	39,156	1,377	1,884	60,936	19,496	2,378	36,441	1,179	1,442
神奈川区	41,586	6,355	3,741	28,540	1,381	1,569	41,138	6,415	3,662	28,612	1,202	1,247
西区	17,858	1,948	2,153	12,619	444	694	17,347	1,852	2,055	12,518	367	555
中区	18,777	2,156	1,847	13,563	425	786	18,169	2,064	1,724	13,373	380	628
南区	24,040	3,575	3,731	15,214	623	897	24,848	3,742	3,910	15,955	545	696
港南区	29,308	3,591	6,328	17,443	734	1,212	31,216	3,859	6,627	19,142	673	915
保土ヶ谷区	29,914	4,101	4,418	19,311	940	1,144	29,832	4,124	4,346	19,569	807	986
旭区	32,887	4,604	8,262	17,321	1,539	1,161	34,401	4,918	8,492	18,456	1,592	943
磯子区	21,598	2,969	4,065	13,200	498	866	20,671	2,715	3,872	13,009	442	633
金沢区	30,650	3,090	9,668	16,180	574	1,138	32,346	3,196	10,266	17,548	495	841
港北区	73,963	11,180	3,799	54,020	2,495	2,469	73,023	11,094	3,559	54,183	2,200	1,987
緑区	29,821	4,570	4,307	16,634	3,250	1,060	28,728	4,723	4,176	16,235	2,877	717
青葉区	76,786	10,077	5,235	53,589	5,113	2,772	74,768	9,998	5,063	53,149	4,638	1,920
都筑区	37,258	6,393	2,564	24,952	1,719	1,630	34,606	6,236	2,345	23,461	1,491	1,073
戸塚区	46,831	4,747	11,497	27,773	1,104	1,710	47,729	4,859	11,396	29,155	971	1,348
栄区	19,962	1,700	7,832	9,318	373	739	21,603	1,749	8,224	10,672	340	618
泉区	23,141	2,393	8,535	10,670	791	752	23,481	2,475	8,570	11,168	665	603
瀬谷区	18,414	1,887	8,172	6,824	1,047	484	19,163	2,060	8,477	7,267	963	396
行政区	対前回比											
	増減数						増減率(%)					
	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)	総数	川崎市へ	県内へ (川崎市 除く)	東京都 区部へ	東京都 区部 以外へ	他県へ (東京都 除く)
<b>横浜市</b>	<b>3,469</b>	<b>△391</b>	<b>△573</b>	<b>△3,586</b>	<b>2,600</b>	<b>5,419</b>	<b>0.5</b>	<b>△0.4</b>	<b>△0.6</b>	<b>△0.9</b>	<b>11.9</b>	<b>30.9</b>
鶴見区	3,744	352	37	2,715	198	442	6.1	1.8	1.6	7.5	16.8	30.7
神奈川区	448	△60	79	△72	179	322	1.1	△0.9	2.2	△0.3	14.9	25.8
西区	511	96	98	101	77	139	2.9	5.2	4.8	0.8	21.0	25.0
中区	608	92	123	190	45	158	3.3	4.5	7.1	1.4	11.8	25.2
南区	△808	△167	△179	△741	78	201	△3.3	△4.5	△4.6	△4.6	14.3	28.9
港南区	△1,908	△268	△299	△1,699	61	297	△6.1	△6.9	△4.5	△8.9	9.1	32.5
保土ヶ谷区	82	△23	72	△258	133	158	0.3	△0.6	1.7	△1.3	16.5	16.0
旭区	△1,514	△314	△230	△1,135	△53	218	△4.4	△6.4	△2.7	△6.1	△3.3	23.1
磯子区	927	254	193	191	56	233	4.5	9.4	5.0	1.5	12.7	36.8
金沢区	△1,696	△106	△598	△1,368	79	297	△5.2	△3.3	△5.8	△7.8	16.0	35.3
港北区	940	86	240	△163	295	482	1.3	0.8	6.7	△0.3	13.4	24.3
緑区	1,093	△153	131	399	373	343	3.8	△3.2	3.1	2.5	13.0	47.8
青葉区	2,018	79	172	440	475	852	2.7	0.8	3.4	0.8	10.2	44.4
都筑区	2,652	157	219	1,491	228	557	7.7	2.5	9.3	6.4	15.3	51.9
戸塚区	△898	△112	101	△1,382	133	362	△1.9	△2.3	0.9	△4.7	13.7	26.9
栄区	△1,641	△49	△392	△1,354	33	121	△7.6	△2.8	△4.8	△12.7	9.7	19.6
泉区	△340	△82	△35	△498	126	149	△1.4	△3.3	△0.4	△4.5	18.9	24.7
瀬谷区	△749	△173	△305	△443	84	88	△3.9	△8.4	△3.6	△6.1	8.7	22.2

表5-7 流入地域別15歳以上通勤者—行政区（平成22年、27年）

行政区	15歳以上通勤者 市外からの流入人口											
	平成27年						平成22年					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)
<b>横浜市</b>	<b>360,190</b>	<b>66,806</b>	<b>180,100</b>	<b>50,536</b>	<b>32,318</b>	<b>30,430</b>	<b>353,930</b>	<b>62,344</b>	<b>185,450</b>	<b>47,721</b>	<b>31,937</b>	<b>26,478</b>
鶴見区	29,435	11,219	7,589	5,918	1,561	3,148	30,470	11,099	8,640	5,958	1,645	3,128
神奈川区	30,118	4,998	13,569	5,523	2,466	3,562	29,236	4,591	13,991	4,971	2,528	3,155
西区	51,852	7,323	25,922	9,559	3,850	5,198	45,596	5,582	24,898	7,661	3,232	4,223
中区	45,338	6,260	25,249	6,657	2,803	4,369	45,824	5,752	26,697	6,329	2,885	4,161
南区	5,404	605	3,639	601	225	334	5,657	550	4,007	554	255	291
港南区	8,809	730	6,324	841	361	553	8,847	660	6,582	781	373	451
保土ヶ谷区	11,193	1,563	6,312	1,597	723	998	10,499	1,198	6,249	1,549	691	812
旭区	8,725	821	6,326	484	759	335	9,128	808	6,558	546	852	364
磯子区	9,885	1,132	5,954	1,112	666	1,021	9,279	1,046	5,926	1,128	393	786
金沢区	19,696	1,076	16,068	1,341	436	775	19,210	1,010	15,982	1,255	394	569
港北区	39,228	10,572	11,960	6,954	5,208	4,534	39,588	10,546	12,766	7,174	5,300	3,802
緑区	11,339	1,779	4,920	1,063	2,953	624	11,920	1,810	5,298	1,203	3,091	518
青葉区	22,324	7,647	6,158	2,794	4,586	1,139	22,024	7,323	6,230	2,707	4,781	983
都筑区	24,037	7,873	7,567	3,293	3,567	1,737	23,200	7,584	7,582	3,157	3,497	1,380
戸塚区	21,247	1,875	15,190	1,885	923	1,374	21,680	1,582	16,163	1,807	922	1,206
栄区	7,353	652	5,539	477	304	381	7,195	538	5,790	416	198	253
泉区	6,193	257	5,334	211	226	165	6,149	232	5,279	239	214	185
瀬谷区	8,014	424	6,480	226	701	183	8,428	433	6,812	286	686	211

行政区	対前対比											
	増減数						増減率(%)					
	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)	総数	川崎市から	県内から (川崎市除く)	東京都 区部から	東京都 区部以外から	他県から (東京都除く)
<b>横浜市</b>	<b>6,260</b>	<b>4,462</b>	<b>△5,350</b>	<b>2,815</b>	<b>381</b>	<b>3,952</b>	<b>1.8</b>	<b>7.2</b>	<b>△2.9</b>	<b>5.9</b>	<b>1.2</b>	<b>14.9</b>
鶴見区	△1,035	120	△1,051	△40	△84	20	△3.4	1.1	△12.2	△0.7	△5.1	0.6
神奈川区	882	407	△422	552	△62	407	3.0	8.9	△3.0	11.1	△2.5	12.9
西区	6,256	1,741	1,024	1,898	618	975	13.7	31.2	4.1	24.8	19.1	23.1
中区	△486	508	△1,448	328	△82	208	△1.1	8.8	△5.4	5.2	△2.8	5.0
南区	△253	55	△368	47	△30	43	△4.5	10.0	△9.2	8.5	△11.8	14.8
港南区	△38	70	△258	60	△12	102	△0.4	10.6	△3.9	7.7	△3.2	22.6
保土ヶ谷区	694	365	63	48	32	186	6.6	30.5	1.0	3.1	4.6	22.9
旭区	△403	13	△232	△62	△93	△29	△4.4	1.6	△3.5	△11.4	△10.9	△8.0
磯子区	606	86	28	△16	273	235	6.5	8.2	0.5	△1.4	69.5	29.9
金沢区	486	66	86	86	42	206	2.5	6.5	0.5	6.9	10.7	36.2
港北区	△360	26	△806	△220	△92	732	△0.9	0.2	△6.3	△3.1	△1.7	19.3
緑区	△581	△31	△378	△140	△138	106	△4.9	△1.7	△7.1	△11.6	△4.5	20.5
青葉区	300	324	△72	87	△195	156	1.4	4.4	△1.2	3.2	△4.1	15.9
都筑区	837	289	△15	136	70	357	3.6	3.8	△0.2	4.3	2.0	25.9
戸塚区	△433	293	△973	78	1	168	△2.0	18.5	△6.0	4.3	0.1	13.9
栄区	158	114	△251	61	106	128	2.2	21.2	△4.3	14.7	53.5	50.6
泉区	44	25	55	△28	12	△20	0.7	10.8	1.0	△11.7	5.6	△10.8
瀬谷区	△414	△9	△332	△60	15	△28	△4.9	△2.1	△4.9	△21.0	2.2	△13.3



(参考) 総務省統計局

「平成 27 年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果 結果の概要」

表Ⅲ-3-1より

昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率—上位 30 市区町村 (平成 27 年)

昼夜間人口比率の高い市区町村					昼夜間人口比率の低い市区町村				
順位	市区町村	昼間人口 (人)	夜間人口 (人)	昼夜間 人口比率	順位	市区町村	昼間人口 (人)	夜間人口 (人)	昼夜間 人口比率
1	東京都 千代田区	853,068	58,406	1,460.6	1	宮城県 七ヶ浜町	12,795	18,652	68.6
2	大阪府 大阪市 中央区	454,554	93,069	488.4	2	大阪府 豊能町	13,923	19,934	69.8
3	東京都 中央区	608,603	141,183	431.1	3	千葉県 栄町	15,092	21,228	71.1
4	東京都 港区	940,785	243,283	386.7	4	山梨県 西桂町	3,113	4,342	71.7
5	愛知県 名古屋市 中区	302,822	83,203	364.0	5	富山県 舟橋村	2,162	2,982	72.5
6	大阪府 大阪市 北区	411,133	123,667	332.5	6	山形県 中山町	8,293	11,363	73.0
7	愛知県 飛島村	14,004	4,397	318.5	7	石川県 内灘町	19,764	26,987	73.2
8	福島県 檜葉町	3,002	975	307.9	8	神奈川県 二宮町	20,812	28,378	73.3
9	東京都 渋谷区	539,109	224,533	240.1	9	神奈川県 川崎市 宮前区	165,620	225,594	73.4
10	東京都 新宿区	775,549	333,560	232.5	10	東京都 狛江市	59,204	80,249	73.8
11	兵庫県 神戸市 中央区	285,642	135,153	211.3	11	埼玉県 富士見市	79,986	108,102	74.0
12	栃木県 芳賀町	29,451	15,189	193.9	12	愛知県 大治町	23,020	30,990	74.3
13	大阪府 大阪市 西区	176,835	92,430	191.3	13	神奈川県 真鶴町	5,470	7,333	74.6
14	<b>神奈川県 横浜市 西区</b>	<b>183,315</b>	<b>98,532</b>	<b>186.0</b>	14	茨城県 利根町	12,173	16,313	74.6
15	京都府 久御山町	28,086	15,805	177.7	15	千葉県 流山市	130,524	174,373	74.9
16	北海道 泊村	3,079	1,771	173.9	16	神奈川県 葉山町	24,059	32,096	75.0
17	宮城県 大衡村	9,911	5,703	173.8	17	和歌山県 日高町	5,737	7,641	75.1
18	広島県 広島市 中区	235,161	136,640	172.1	18	奈良県 平群町	14,189	18,883	75.1
19	愛知県 名古屋市 中村区	229,194	133,206	172.1	19	埼玉県 さいたま市 南区	135,717	180,152	75.3
20	京都府 京都市 下京区	138,572	82,668	167.6	20	千葉県 大網白里市	37,099	49,184	75.4
21	福岡県 福岡市 博多区	381,926	228,441	167.2	21	山形県 山辺町	10,848	14,369	75.5
22	北海道 札幌市 中央区	386,602	237,627	162.7	22	青森県 階上町	10,593	14,025	75.5
23	<b>神奈川県 横浜市 中区</b>	<b>239,067</b>	<b>148,312</b>	<b>161.2</b>	23	石川県 津幡町	28,028	36,968	75.8
24	大阪府 大阪市 天王寺区	120,107	75,729	158.6	24	長崎県 長与町	32,281	42,548	75.9
25	愛知県 名古屋市 東区	123,417	78,043	158.1	25	茨城県 城里町	15,029	19,800	75.9
26	東京都 文京区	346,132	219,724	157.5	26	大阪府 島本町	22,790	29,983	76.0
27	福岡県 福岡市 中央区	296,992	192,688	154.1	27	<b>神奈川県 横浜市 青葉区</b>	<b>236,079</b>	<b>309,692</b>	<b>76.2</b>
28	東京都 台東区	303,931	198,073	153.4	28	群馬県 吉岡町	16,081	21,080	76.3
29	神奈川県 箱根町	17,853	11,786	151.5	29	兵庫県 猪名川町	23,541	30,838	76.3
30	大阪府 大阪市 浪速区	105,451	69,766	151.1	30	奈良県 三宅町	5,229	6,836	76.5

注) 原子力災害により、全域が避難指示区域である町村を除く。

# 平成 27 年国勢調査の概要

## 1 調査の目的

国勢調査は、我が国の人口、世帯、産業構造等の実態を明らかにし、国及び地方公共団体における各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として行われる国の最も基本的な統計調査である。調査は大正 9 年以来ほぼ 5 年ごとに行われており、平成 27 年国勢調査はその 20 回目に当たる。

## 2 調査の時期

平成 27 年国勢調査は、平成 27 年 10 月 1 日午前零時（以下「調査時」という。）現在によって行われた。

## 3 調査の地域

平成 27 年国勢調査は、我が国の地域のうち、国勢調査施行規則第 1 条に規定する次の島を除く地域において行われた。

- (1) 歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島
- (2) 島根県隠岐郡隠岐の島町にある竹島

## 4 調査の対象

平成 27 年国勢調査は、調査時において、本邦内に常住している者について行った。ここで「常住している者」とは、当該住居に 3 か月以上にわたって住んでいるか、又は住むことになっている者をいい、3 か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在いた場所に「常住している者」とみなした。

## 5 調査の事項

平成 27 年国勢調査では、男女の別、出生の年月など世帯員に関する事項を 13 項目、世帯の種類、世帯員の数など世帯に関する事項を 4 項目、合計 17 項目について調査した。

## 6 調査の方法

平成 27 年国勢調査は、総務省統計局—都道府県—市区町村—国勢調査指導員—国勢調査員—世帯の流れにより行った。

調査は、総務大臣により任命された約 70 万人（横浜市は約 1 万 7 千人）の国勢調査員が、「インターネット回答の利用案内」を世帯ごとに配布した。インターネットによる回答のなかった世帯に対しては、紙の「調査票」を配布し、世帯が調査票に記入した上で、調査員への提出又は郵送による提出のいずれかを選択する方法により行った。